

リアホナ

表紙の記事

救い主についての
個人的な証^{あかし}, 10ページ

ヤングアダルトにとって人生を左右する選択
26ページ

マビを自由にしたもの
32ページ

天の窓を開く
39, 40, F8ページ

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)

大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー, トーマス・S・モンソン, ジェームズ・E・ファウスト

十二使徒定員会:ボイド・K・バッカー, L・トム・ペリー, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, ジョセフ・B・ワースリン, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホルランド, ヘンリー・B・アイリング, ティーター・F・ワークトドルフ, デビッド・A・ベドナー

編集長:ジェイ・E・ゼンセン

顧問:モンティ・J・ブラフ, ゲーリー・J・コールマン, 菊地良彦

実務運営ディレクター:デビッド・フリッシュニク

編集ディレクター:ピクター・D・ケーブ

主任編集者:ラリー・ヒラー, リチャード・M・ロムニー

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:ピクター・D・ケーブ

編集主幹補佐:ジェニファー・L・グリーンウッド

副編集長:ライアン・カー, アダム・C・オルソン

編集補佐:スーザン・バレット

編集スタッフ:シャナ・バトラー, リンダ・ステール・クーバー, ラリオン・ポーター・ガーント, R・バル・ジョンソン, キャリー・カステン, メルビン・リービット, サリー・J・オデカーク, ジュディス・M・パーラー, ビビアン・ポールセン, サラ・R・ポーター, ジェニファー・ローズ, ドン・L・サール, レベッカ・M・テラー, ロジャー・テラー, ジャネット・トーマス, ポール・バンデンバーク, ジュリー・ワーデル, キンバリー・ウェーブ

主任秘書:モニカ・L・ディッキンソン

編集インターン:ブリタニー・ジョーンズ・ビーム, ニュール・セイモア

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:スコット・パン・カンペン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:カリ・R・アロヨ, コレット・ネベカー・オース, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデッド, トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, タッド・R・ピーターソン, ランドール・J・ピクストン,

印刷ディレクター:クレーク・K・セジウィック

配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/001000-641512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 1,800円(送料共)

半年予約 1,200円(送料共)

普通号/大会号 200円

「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。

Room 2420, 50 East North Temple Street,

Salt Lake City, UT 84150-3220, USA

電子メール:liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉、「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アイスランド語, アルバニア語, アルメニア語, イタリア語, インドネシア語, ウクライナ語, 英語, エストニア語, オランダ語, 韓国語, カンボジア語, キリバス語, クロアチア語, サモア語, シンハラ語, スウェーデン語, スペイン語, スロベニア語, セブアン語, タイ語, タガログ語, タミル語, タル語, 中国語, チェコ語, デルグ語, デンマーク語, ドイツ語, トンガ語, 日本語, ルウエー語, ハイチ語, ハンガリー語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ベトナム語, ポーランド語, ポルトガル語, マーシャル語, マダガスカル語, モンゴル語, ラトビア語, リトニア語, ルーマニア語, ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)

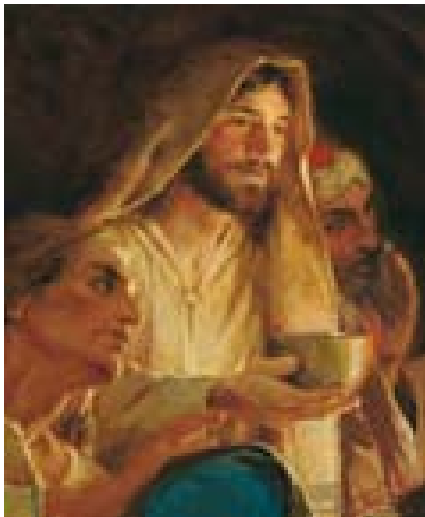
©2007 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷:日本「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において臨時に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月 原題—International Magazines April 2007. Japanese. 00784 300

「リアホナ」は、教会のホームページwww.lds.org(英語)に様々な言語で掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をクリックしてください。その他の言語は世界地図をクリックしてください。

For Readers in the United States and Canada:

April 2007 no. 4 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$16.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste International: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.



10 聖餐——主の犠牲

一般

2 大管長会メッセージ——

結婚生活を豊かにする

ジェームズ・E・ファウスト管長

8 主はあなたを休ませてくださいます

デニス・L・マクダニエル

10 福音クラシック——

聖餐——主の犠牲

デビット・B・ヘイト長老

15 新約聖書からの教訓——

悔い改めの喜び

クレグ・C・クリステンセン長老

25 家庭訪問メッセージ——

貧しい人や助けを必要としている人の

世話をすることによって、

神の御手に使われる者となる

26 ヤングアダルトへの

3つのメッセージ

アール・C・ティンギー長老

36 一人が示す模範

ブルース・C・ヘーフェン長老

44 末日聖徒の声

詩 アリス・フォークナー

わたしの息子も生きています

ブレンダ・ハント

御霊はなぜ

語りかけていたのでしょうか

ロジャー・B・

ウルステンヒュルム

不思議な電話

クラウドイオ・ズィビック

48 読者からの便り

表紙

表紙——「なぜ泣いているのか」サイモン・デュエイ画。

複製は禁じられています。

裏表紙——マシュー・ライアー

「フレンド」表紙

絵/ポール・マン

家庭の夕べのためのアイデア

以下のアイデアは、家庭だけではなくクラスでのレッスンにおいても役立てることができま

「聖餐——主の犠牲」10

ページ——家族一人一人

に、目を閉じて、自分が

バプテスマを受けたと

きのことや聖餐を受

けているときのこと、また救い主の生

涯の一場面を思い浮かべてもらいま

す。それらにはどんな共通点がある

でしょうか。意識を失っていたときに

デビット・B・ヘイト長老が学んだこ

とについて話してから、聖餐はキリ

ストの犠牲とどのような関連があるか

を家族に説明してもらいましょう。次

に、聖餐を受けているときに救い主を思い起こすための方法を挙げてください。

「ヤングアダルトへの3つのメッセージ」26ページ

——家族に20年後の自分

分はどうなっているか

を絵に描いてもらい

ましょう。描き終

わったら、それまでに何を達成

しておきたいかを話し合ってください。

それから、将来幸福になるため

に役立つアール・C・ティンギー長老

の勧告を読みます。

「自由に踊る」32ページ——家族

に、達成したい目標を書き、それら

を実現させるためのアイデアを出し



こんげつごう
今月号のどこかに隠れている
CTRリングを捜しながら、
なぜイースターのときに
イエス・キリストの復活をお祝いするのか
かんが
考えてください。



青少年

- 7 ポスター——すべてのものの救い主
- 18 ケープタウンの記録ずくめのスカウト
ポール・バンデンバーク
- 22 質疑応答——教会の友達の一人が福音の標準を
幾つか守っていません。とても心配していますが、
どのように助けてあげられるでしょうか。
- 32 自由に踊る アダム・C・オルソン
- 39 教訓に教訓——什分の一とその他のささげ物
- 40 天の窓 H・ブライアン・リチャーズ長老

18 ケープタウンの記録 ずくめのスカウト



32 自由に踊る

合ってもらいます。目標を達成するためにマビがどんなことを選んでるかについて読み、話し合います。目標を実現するためには、義になかった心構えと行いが大切であることを強調してください。

【天の窓】 40ページ——家族に、大切にしている思い出の品を持って来て、なぜ大事なのかその理由を話してもらいます。インドの4人の女性の話をしましょう。わたしたちの納める什分の一は主にとってどのような価値があるのでしょうか。インドであった教会堂の奉献式に関する話を紹介してください。什分の一を払うことによって、その人々はどのように祝福されたのでしょうか。H・ブライアン・リ

チャーズ長老のお話の中から、忠実に什分の一を納めることによって与えられる約束にはどのようなものがあるかを挙げ、話し合います。

【母のおかげ】 F14ページ——家族の写真を見ながら、母親が家族一人一人にどのように導きを与えてくれているかについて話し合います。カーロス・H・アマードー長老の母親が、彼をどのようにバプテスマと伝道へ導いたかを話してください。家族に母親の影響に感謝するカードを書いてもらいましょう。

フレンド

- F2 預言者の声——朝とともに喜びが来る
トーマス・S・モンソン^{かんちやう}管長
- F4 分かち合いの時間——
しゅは生きておられます！
エリザベス・リックス
- F6 スペンサー・W・
キンボール^{だいかんちやう}の
しょうがいから——ピアノをひく
- F8 神のいましめを学ぶ
パトリア・R・ジョーンズ
- F10 友だちになろう——
カナダ、オンタリオ州^{しやう}の
キークティンに住む
クララ・クリステンセン
メルビン・リービット
- F13 歌——天使がジョセフにあらわれた
アンナ・ジョンソンと
A・ローレンス・ライオン
- F14 小さなお友だちへ——
母のおかげ
カーロス・H・
アマードー^{ちやうろう}長老
- F16 色をぬりましょう



F10 カナダ、オンタリオ州^{しやう}の
キークティン^すに住む
クララ・クリステンセン

今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略

贖い …… 7, 8, 15, 45	信仰 …… 40
イエス・キリスト	スカウト活動 …… 18
… 7, 8, 10, 15, F2, F4	スペンサー・W・
祈り …… 2, 10, 22	キンボール …… F6
音楽 …… F13	聖餐 …… 10
家族 …… 26, F10	聖霊 …… 10, 15, 36, 46
家庭訪問 …… 25	備え …… 26, 32, F6
神への務め …… 18	断食献金 …… 39
犠牲 …… 10, 32, 40, F8	伝道活動 …… 8, 18, 36, 46
教育 …… 26	母親 …… F14
悔い改め …… 10, 15,	バプテスマ …… 8, 44, F14
結婚 …… 2, 26	標準 …… 22
財政 …… 26, 39	フェローシップ …… 22
自己鍛錬 …… 32	復活 …… 10, 45, F4
自由 …… 32	奉仕 …… 18, 25
従順 …… 32, 36, 40	ホームティーチング …… 6
什分の一 …… 2, 39, 40, F8	召し …… 26
純潔 …… 8	モルモン書 …… 18
ジョセフ・スミス …… F13	離婚 …… 2
初等協会 …… F4	



結婚生活を 豊かにする

大管長会第二顧問
ジェームズ・E・ファウスト管長

何年も前、弁護士業に携わっていたわたしは、夫との離婚を考えているある女性の相談を受けました。離婚の理由は正当であるように思えました。離婚が成立した後、わたしは長い間彼女に会うことがありませんでした。しかし、彼女と偶然道で会ったとき、かつての美しい顔に何年にもわたる孤独と失望という影を落としていることに気づきました。

少しあいさつを交わした後で、彼女はこれまでの人生が豊かではなく、実りが少なかったこと、そして独りで苦勞するの嫌げがさしたことを打ち明けてくれました。さらに驚いたことに、次のように述べたのです。「離婚しても何も好転しませんでした。もしやり直せるのなら、そしてあのときこうなることが分かっていたら、離婚などしないでしょね。今の状況は前よりもかえって悪くなったくらいですから。」

統計的に見ると、離婚を避けることは容易ではありません。専門家の予測では、現在アメリカ合衆国では、およそ半数の女性が生涯で離婚を経験することになります。離婚はほかの国でも増えています。増加の一途をたどる離婚率がこのまま上昇^{しょうじょう}を続けるなら、もっと多くの結婚が悲劇的な終焉^{しゅうげん}を迎えるでしょう。

離婚が正当化されるのは、ごくまれな状況だ

けです。わたしの意見では、離婚が正当とされるのは、人間としての尊厳が損なわれる、明らかに取り返しのつかない関係が長く続く場合に限られます。離婚はしばしば人々の生活を引き裂き、家庭の幸福を破壊します。また離婚は多くの場合、双方にとって、得るものよりも失うものが多いのです。

離婚をした人々の悲痛な経験は、ほとんど理解されてはいないように思います。また、恐らく十分に認識されてもいません。この大きな悲劇を経験し、二度と元の生活に戻ることでできない人々に対して、確かにもっと多くの同情と理解を示す必要があります。離婚を経験した人々も、自己を忘れ、ほかの人々のために奉仕することにより、人生の幸福や充実感を得られる希望や期待をまだ十分に持つことができます。

難しい質問

豊かで満ち足りた結婚生活を送っている人もいる反面、多くの人々にとって結婚における幸福が、非常にもろくはないものであるのはなぜでしょうか。心痛と苦悩の結果が、なぜそんなにも長く続き、罪もない多くの人々までも道連れにしなければならないのでしょうか。

多くの夫婦は大きな幸福と高い望みを抱いて生活を始めたはずですが、結婚生活を豊かにするうえで、どのような要素が欠けているのでしょうか。



結婚生活は、
夫婦が力を合わせて、
良いもの、美しいもの、
そして神聖なものを
探求することです。

わたしは長い間この困難な問題について深く考えてきました。そして人生のほとんどもかけて、人々の抱えるこれらの問題と取り組んできた結果、不幸な結婚生活や離婚、家庭崩壊の問題について幾分理解できるようになりました。また、大きな幸福についても知る事ができました。なぜなら、愛する妻ルースのおかげで、結婚生活の中に人生における最も豊かな充足感を見いだしたからです。

離婚の原因

結婚生活における幸福とは何かという複雑で難しい質問の答えは、決して単純で容易なものではありません。また、離婚の原因と思われる事柄もたくさんありますが、その中には利己心や未熟さ、無責任、不十分な意思の疎通、不誠実などの深刻な問題もあります。

しかし、わたしは自分自身の経験から、もう一つの理由があると思います。それは表面上あまり目立ちませんが、ほかのすべての理由に先行し、すべてにかかわっているものです。それは、結婚生活を絶えず豊かにしようとする努力の欠如です。すなわち結婚生活を、貴く、特別な、すばらしいものにしようとするもう少しの努力をしないために、それが単調で困難な、味気ないものに変化してしまうのです。

結婚生活を豊かにする

次のように思い悩むこともあるでしょう。「結婚生活を絶えず豊かなものにするには、どうしたらよいだろうか。」わたしたちは限らない友情と信頼、誠実さ、そして困難な中であって互いに助け合い、支え合うことで、結婚生活を築いていきます。アダムはエバのことをこう言いました。「これこそ、ついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉。」(創世2:23) すでに結婚している人、あるいは現在結婚を考えている人が「一体」となるために、正直に自分に問いかけてみるべき単純で適切な質問が幾つかあります。次のような質問です。

1. わたしは自分自身の望みよりも、結婚生活や伴侶のためになることを第一に考えることができるだろうか。
2. わたしはほかの関心事を後回しにして、自分の伴侶のために尽くそうと、どれほど固く決心しているだろうか。
3. 伴侶はわたしの最良の友だろうか。

4. わたしは伴侶を価値ある人間と見なし、その人格を尊んでいるだろうか。

5. わたしたちはお金のことで口論することがないだろうか。お金があるからといって、それだけで夫婦は幸福になるわけでもなく、お金がないからといって、不幸になるわけでもありません。お金に関する争いは、しばしば利己心の象徴とされます。

6. わたしたちは霊的に聖いさずなで結ばれているだろうか。

結婚生活を豊かにする架け橋を築く

幾つかの重要な習慣が結婚生活を豊かにする力となります。

祈り。結婚のきずなは、意思疎通の改善によって深められます。そのために大切な一つの方法が、ともに祈ることです。そうすれば夫婦間の意見に相違があっても、眠りに就く前に多くの問題を解決することができます。相違を過度に強調するつもりはありませんが、相違は現実存在し、相違があるからこそ、物事はおもしろいのです。夫婦間の相違は一つまみの塩のようで、結婚生活を豊かにする隠し味となります。

人は様々な方法で意思の疎通を図ります。ほほえみかけたり、髪をといてあげたり、優しく体に触れたりします。毎日欠かさず「愛しています」と語りかけ、夫は妻に「きれいだよ」と言う必要があります。また、時に応じて使う「ごめんなさい」という言葉は、夫婦いずれにとっても大切です。また耳を傾けることも、意思疎通のすばらしい方法です。

信頼。互いを心から信頼することも、結婚生活を豊かにする最大の要因の一つです。一方、不貞ほど、実りある夫婦関係を維持するために必要な相互信頼の土台を揺るがすものではありません。姦淫は決して正当化できないものです。時にはこうした破滅的な経験にもかかわらず、夫婦関係が保たれ、家族が守られることもあります。しかし、そのためには、傷つけられた方が相手を赦し、その行為を忘れられるほどの無条件の愛を持つ必要があります。そして過ちを犯した方は、心から悔い改め、実際に罪を捨てる必要があるのです。

永遠の伴侶に対して、単に肉体に関してだけでなく、精神的にも霊的にも忠誠を尽くす必要があります。結婚後は、他人に対するいかなる恋愛感情も嫉妬も害を及ぼすものなので、結婚相手以外の人とのいかなる不審に思われるような実際も慎み、かすかなものであっても悪い徴候から遠ざかるこ



とが賢明です。

高潔。高潔は夫婦を固く結ぶ強力な接着剤のようなものです。主は次のように言われました。「あなたは心を尽くして妻を愛し、妻と結び合わなければならない。その他のものと結び合ってはならない。」(教義と聖約42：22)

神聖な力を受ける

結婚生活を豊かにするすべてのものの中で、特別な要因が一つあります。それは夫婦を、何にも増して真実に、神聖に、霊的に結びつけるものです。それはすなわち、結婚生活において神の力を受けることです。シェークスピアは『ヘンリー五世』の中で、次のように述べています。「すべての結婚のもっともよき結び手である神よ、この二人の心をついに……結んで下さい。」(シェークスピア『シェイクスピア全集』「ヘンリー五世」第5幕、第2場、大山俊一訳、筑摩書房、345-346) 神は結婚の最も良き守護者でもあられます。

結婚生活を豊かにするものは多くありますが、そのすべてが結婚のきずなにとって同じくらい重要な要素だとは思えません。結婚生活がもたらす偉大な幸福の中核を成すものは、夫婦愛をはぐくみ、神が授けてくださる神聖な祝福を享受することなのです。霊的な一致は結婚生活を不動のものにします。

結婚生活の神聖さが徐々に失われ始めると、結婚は破滅へと向かうようになります。

離婚が増加している理由は、神の戒めを守ることのでられる神聖な祝福が欠けているからだと思います。つまり、霊的な養いが欠けると、結婚生活が破綻するのです。

什分の一。わたしは、約20年間にわたるビショップとステーキ会長としての経験を通じて、什分の一を納めることこそ離婚を防ぐためのすばらしい防御手段であることを知りました。什分の一を納めることで霊的な充電が行われ、霊性が弱くなったり、失われそうになったりしたときに、それを乗り越えることができるのです。

偉大な愛のハーモニーを常に奏でる音楽ほどすばらしく荘厳な音楽があるでしょうか。二人の声が一つの霊的な歌に溶け合うとき、それは最も完璧な音楽となります。結婚とは、敬意と成熟、無私^{かんべき}の心、慎み、献身、正直を基盤として、人間の最大の必要を満たすために神が定められた方法です。結婚生活と親の務めを通して得られる幸福は、ほかのいかなる幸福よりもはるかに勝るものです。

結 婚生活を豊かにするすべてのものの中で、特別な要因が一つあります。それは夫婦を、何にも増して真実に、神聖に、霊的に結びつけるものです。それはすなわち、結婚生活において神の力を受けることです。



親の務め。夫婦が親となったとき、結婚生活の基盤はますます強化され、霊性は一段と高まります。子供を持つ夫婦は、親の務めを果たす中で何にも勝る大なる幸福を得ることができます。男性は父親となって家族を養うことにより成長します。また、女性は母親として無私の愛を示すことによって成長します。わたしたちは、親になって初めて愛の完全な意味を十分に理解できるのです。しかし、子供のいない夫婦も、愛をもってその祝福にあずかる備えをするならば、忠実さのゆえに、主から栄誉と祝福を受けるでしょう。わたしたちの家庭は、この地上にある聖所の中でも最も神聖な場所とならなければなりません。

結婚生活を豊かにするうえで重要なのは、小さな事柄です。常に互いを認め合い、心から感謝を示さなくてはなりません。また互いに励まし合い、助け合って成長する必要があります。結婚生活は、夫婦が力を合わせて、良いもの、美しいもの、そして神聖なものを探求することです。

救い主は次のように言われました。「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」(黙示3:20)

神の御霊^{みたま}がすべての結婚生活と家庭生活に豊かさ^{あかし}と祝福を与えてくださいますように。特に、神の永遠の計画の一部として、聖徒たちのうえに祝福がありますように。■

ホームティーチャーへの提案

このメッセージをよく祈って研究した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて分かち合ってください。幾つかの例を以下に紹介します。

1. 2種類の色の粘土をボールの形に丸める。それぞれが夫と妻を表すと説明する。二つのボールを一つに丸める。家族の一人に二つの色を切り離すように言う。結婚している人、あるいは現在結婚を考えている人が自問すべき事柄として、ファウスト管長が挙げた6つの質問^{あかし}について話し合う。夫婦が一致することの大切さについて証する。

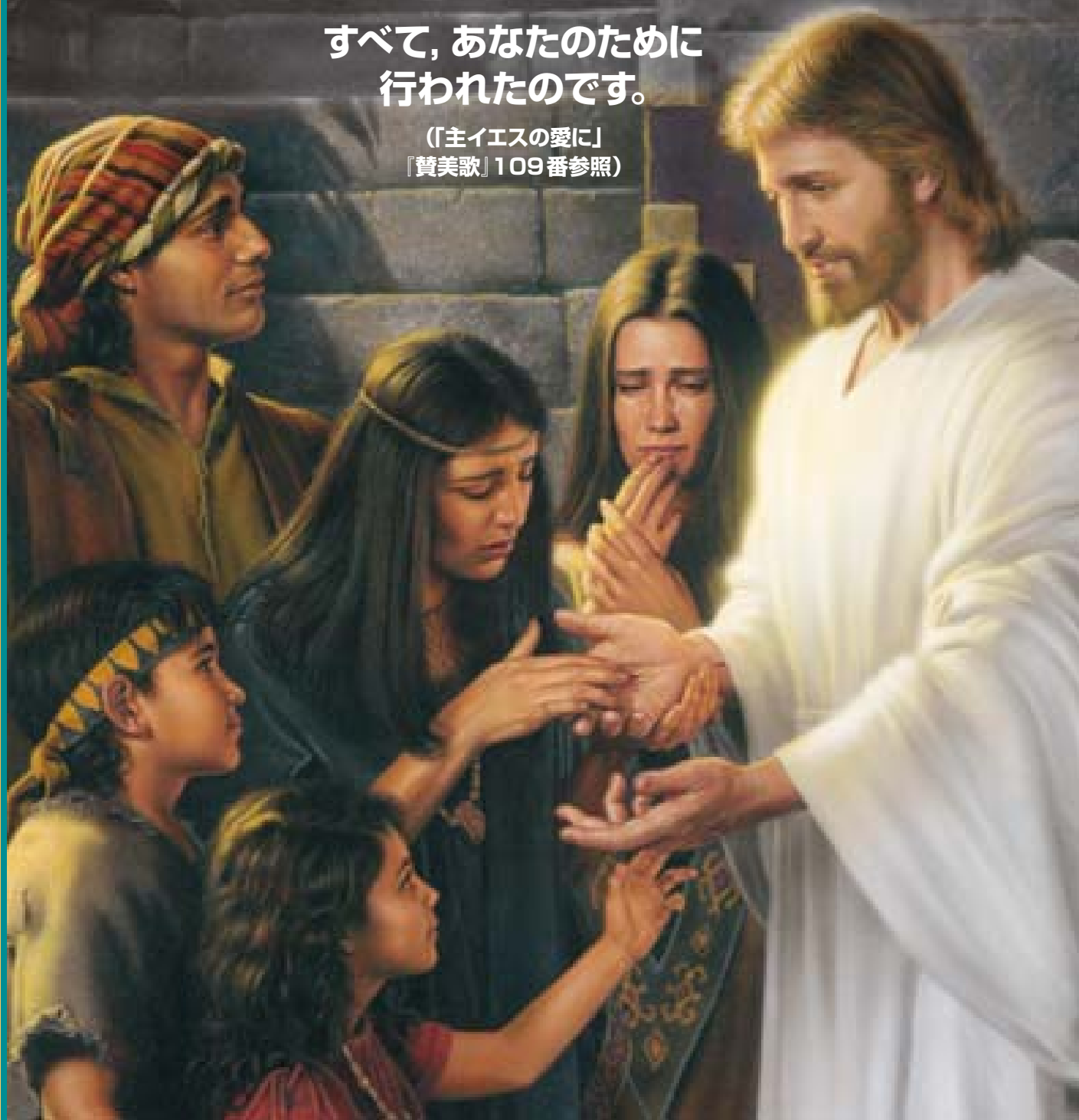
2. 家族に丸く輪になって立ってもらう。結婚生活を豊かにする大切な習慣は何かを各自に述べてもらう。隣の人と肩を組むか、手を握りながら、それぞれの考えについて話し合う。一人の家族が輪の外へ出ると、輪が壊れてしまうと説明する。結婚生活を堅固に保つことの大切さについて証する。

3. 食卓塩を持って来る。塩が食物の味をよくすることを説明する。ファウスト管長が夫婦間の相違を塩にたとえた文章を読み、夫婦の相違が結婚生活を豊かにすることについて話し合う。既婚者の家族を教えている場合、互いへの感謝の気持ちを強めるためにどのようなことをしてきたかを尋ねる。

すべてのものの 救い主

すべて、あなたのために
行われたのです。

〔主イエスの愛に〕
〔賛美歌〕109番参照)





主はあなたを 休ませてください

彼女の心の痛みが分かりました。
心から罪を悲しみ、
正しいことをしたいという望みが
誠実なものであると感じたので、
何とかして彼女を
助けたいと思いました。

デニス・L・マクダニエル

絵/サム・ローラー

スージー(仮名)と出会ったのは、わたしが宣教師として奉仕していたときです。わたしと一緒に伝道本部で奉仕する二人の宣教師が、彼女と彼女の家族に福音を教えました。やがてすべてのレッスンが終わり、家族はバプテスマと確認の儀式を受けることに同意しました。父親、母親、スージー、弟の4人から成るこのすばらしい家族と面接する特権がわたしに与えられました。

スージー以外の3人のバプテスマの面接が終わりました。十分に備えができていて、主の王国の会員になることに胸を躍らせていました。ところが、スージーが部屋に入って来たとき、彼女はおとなしく、わたしと話すのをためらっているようでした。

初めにわたしは、これまでに学んだことに関して質問しました。スージーは預言者ジョセフ・スミスの経験を理解し、信じています。モルモン書を読み、真実であると知っています。この教会が地上における唯一まことの生ける教会であるということを受け入れ、会員になりたいと望んでいます。次に、什分の一の律法、知恵の言葉、そのほかの戒めに進んで従う意志があるか尋ねました。スージーは戒めを理解していて、残りの生涯を戒めに進んで従う決意をしていました。実際、彼女の面接は、ほかの家族の面接とほとんど同じでした。

それから「純潔の律法とはどのような戒めか話してくださいませんか」と尋ねました。一瞬にして彼女の顔色が変わりました。目を合わせるのを躊躇していたのはこの戒めに関係があることが直感的に分かりました。わたしが口を開こうとすると、彼女は両手で顔を覆い、ひざに身をかがめて、むせび泣き始めました。

座ったまま交わす言葉もなく数分間が過ぎました。わたしはどう声をかけてよいのか分からずにいました。スージーはただ泣きじゃくるだけでした。主に助けを求めて祈り、どうしたのかスージーに尋ねました。ついにスージーは顔を上げ、宣教師に会う数週間前にボーイフレンドと犯した行為について話し始めました。そのような行為は主の律法に反しているということを宣教師から教えられたのはそれから後のことです。ボーイフレンドには教えられたことやそのような関係にもう二度と陥りたくはないということを伝えました。彼に宣教師の話聞いて、彼女が学んだ真実を学んでほしいとさえ勧めました。それでも、そのような行為を犯してしまったという罪悪感が心の重荷になっていたのです。

彼女の心の痛みが分かりました。心から罪を悲しみ、正しいことをし、バプテスマを受けたいという望みが誠実なもの

であると感じたので、何とかして彼女を助けたいと思いました。そのとき、わたしの祈りに対する答えがはっきりと与えられました。「スージー、この罪による良心の呵責と痛みから解放されたいですか」と尋ねました。彼女はまた両手で顔を覆い、うなずきました。そして「はい」と一言答えました。彼女の目からもっと涙があふれました。彼女を慰めようと、わたしは贖いについて、また贖いの効力を受けるにはどうすればよいのか話しました。バプテスマと確認の儀式の目的の一つは、誠実に悔い改める人を癒すことにあるのだと教えました。疑う余地も無く、彼女は誠実な人でした。

祈りによって面接を終えると、明らかに主の御霊がそこにありました。これまで行ってきたどの面接にも増して、力強く主の御霊を感じました。

同僚とわたしが礼拝堂に着いたのはバプテスマ会の直前でしたので、バプテスマ会が始まる前にスージーや家族と話すことはできませんでした。歌とお話の後、彼らはバプテスマを受けました。最初に母親、そして父親、続いて弟、最後にスージーです。彼女はフォントに降りて行きました。その笑顔は、主の癒しの乳香が彼女の心に染み渡っていることを物語っていました。水から上がると、彼女の目にもわたしの目にも涙が浮かんでいました。そして笑みを浮かべたその顔は以前にも増して明るく輝いていました。そのとき初めて、なぜ主が「すべて重荷を負うて……いる者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう」と教えられたのかが分かりました(マタイ11:28)。

バプテスマ会のあと少しだけ話げできました。主の王国の新会員となったその家族に歓迎の気持ちを伝えました。スージーと握手をしたとき、この経験がわたしにとってどれほど重要な意味を持つものであったか伝えたいと思いました。これまでの人生でわたし自身も悔い改めて贖いの力を感じたことがあります。しかし彼女と出会って、わたしはかつてないほど主の贖いの力を感じることができ、そのことに感謝しました。

教会員になることだけでも困難なことです。ましてこのように個人的な不安を抱えて教会に加わったスージーにとっては、さらに困難なことだったでしょう。そしてそのような経験をする新会員は大勢いることでしょう。しかし、イエス・キリストの贖いのおかげで、そのチャレンジは乗り越えられるものとなり、このすばらしい神の娘は改宗に導かれ、その魂に癒しが与えられたのです。また同時に、感受性の強い一人の若い宣教師が、贖いを自分の生活に取り入れることの大切さについて大切な教訓を得たのです。■



せい い さん 聖餐 主の犠牲

デビット・B・ヘイト長老は1906年9月2日、アイダホ州オークレーでヘクター・C・ヘイトとクララ・タトル・ヘイトとの間に生まれました。1930年9月4日、ルビー・オルソンとソルトレーク神殿で結婚しました。中央幹部に召される前は、小売商として成功を収め、カリフォルニア州パロアルト市長を務め、スコットランド伝道部を管理しました。1976年1月8日、使徒に聖任され、2004年7月31日、97歳で他界しました。

十二使徒定員会 デビット・B・ヘイト長老(1906-2004年)

半年前の4月の総大会のとき、わたしは大きな手術を受けて療養中でしたので、話の責任を失礼させていただきました。わたしは命を取り留めました。この場をお借りして、わたしの受けた祝福と慰め、親切な助けに感謝したいと思います。大変お世話になっている大管長会や十二使徒定員会をはじめ、素晴らしい同僚や友人の皆さん、また妻のルビーや子供たちのそばにいて、時間を割いて、心を配り、祈りをささげてくれた皆さんに心から感謝します。……

重篤な状態に陥ったあの夜、わたしは自分の身に何か重大なことが起きていることが分かりました。まさに緊急事態でした。突然、激痛に襲われ、妻のルビーが医者と家族に電話をしました。わたしは少しでも痛みが和らぎ、楽になるようにと、ひざまずいて浴槽に寄りかかりました。心を尽くして天の御父に祈り、御心ならば、わたしの命を助け

て、主の業を行うための時間をもう少し下さるよう願い求めました。

祈っている間に、意識が薄れ始めました。救急車のサイレンを聞いたのが最後で、その後は完全に意識を失い、それから数日間、意識不明の状態が続きました。

激痛はやみ、騒々しい音もしなくなりました。わたしは静かで平安に満ちた場所にいました。辺りは穏やかで静まりかえっていました。遠くの丘の中腹に二人の御方が見え、御一方はもう御一方よりも高い所にいらっしゃいました。御二方の御姿の細部は見えませんでした。高い所にいる御方が何かを指差しておられましたが、わたしには見えませんでした。



その御方は確かに
キリスト・イエスであられ、
神の御子、
万物の救い主、
全人類の贖い主、
すなわち
無限の愛と憐れみと
救しを授ける御方、
世の光であり
世の命であられる
と証します。





あの園において、
わたしたちには
とうてい
理解できない方法で、
救い主は
アダムから
世の終わりに至る
全人類の罪の重荷を
その身に
受けられたのです。

人の声は聞こえませんでした。聖なる場所
で聖なる御方の前にいるのを意識していま
した。それからの数時間そして数日間、わた
しの脳に何度も繰り返し、人の子の永遠の使命
と昇栄された御姿とが刻み込まれたのです。
その御方は確かにキリスト・イエスであられ、
神の御子、万物の救い主、全人類の贖い主、す
なわち無限の愛と憐れみと赦しを受ける御
方、世の光であり世の命であられると証します。
わたしはこの真理をすでに知っていて、疑
ったことはありませんでした。しかし今や、わた
しの全身全霊に御霊が注がれて、実に不思議
な方法でこの神聖な真理を悟ったのです。

わたしの目の前で、この地上での務めを果
たされた主の生涯がパノラマのように展開され
ました。主のバプテスマ、教え、病人や体の不
自由な人の癒し、不正な裁判、はりつけ、復活、
そして昇天です。それから、主が地上での務
めを果たされる場面が、驚くほど詳細にわ
たってはっきりと見えました。それは、聖文に

記されているままの光景でした。見たもの
を通して、わたしは教えられました。神の聖なる
御霊により理解の目が開かれて、多くのこと
を見ました。

最初に見たのは、2階の広間におられた救
い主と使徒たちです。それは、主が裏切られる
前日の晩でした。過越の食事が済むと、主は主
の晩餐である聖餐について教え、主の犠牲の
記念として、愛する弟子たちのために聖餐を
備えられました。一人一人の使徒に対する救
い主のあふれんばかりの深い愛を目にし、わた
しは心を打たれました。細部にわたる主の深
い思いやりをこの目で見たのです。主が使徒
たちの汚れた足を一人ずつ洗われる様子、パン
を裂いて祝福し、ぶどう酒を祝福される様子、
そして、使徒の一人が裏切ろうとしているとい
う恐ろしい事実をお告げになる様子。

主はユダが出て行ったことについて説明し、
ほかの使徒たちに間もなく起こることを話され
ました。

それから救い主は11人の使徒に厳かにこう言われました。「これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」(ヨハネ16:33)

救い主は天の御父に祈り、すべてのふさわしい人に永遠の命をもたらす権能と力の源は御父であられることを認められました。

主はこう祈られました。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたがかわされたイエス・キリストとを知ることであります。」

さらに付け加えて、イエスは恭しく言われました。

「わたしは、わたしにさせるためにお授けになったわざをなし遂げて、地上であなたの栄光をあらわしました。

父よ、世が造られる前に、わたしがみそばで持っていた栄光で、今み前にわたしを輝かせて下さい。」(ヨハネ17:3-5)

主は、この世から召され、主に対する証に忠実であった使徒たちのためばかりでなく「彼らの言葉を聞いて〔主〕を信じている人々のためにも」御父に嘆願されました(ヨハネ17:20)。

イエスと11人の使徒たちは賛美歌を歌った後、オリブ山へ向かいました。そこで、あの園において、わたしたちにはどうも理解できない方法で、救い主はアダムから世の終わりに至る全人類の罪の重荷をその身に受けられたのです。園での苦しみは非常に激しく「その汗が血のしたたりのように地に落ち」るほどであったとルカは伝えています(ルカ22:44)。主は、人間には耐えられない苦痛と重荷とを受けられました。そしてこの苦悶のさなかに、サタンのあらゆる力に打ち勝たれたのです。

栄光を受けた主は、ジョセフ・スミスを通して全人類にこのように訓戒されました。

「それゆえ、わたしは、悔い改めるようにあなたに命じる。……

見よ、神であるわたしは、すべての人に代わってこれらの苦しみを負い、人々が悔い改めるならば苦しみを受けることのないようにした。……

その苦しみは、神であって、しかもすべての中で最も大なる者であるわたし自身が、苦痛のためにおのき、あらゆる毛穴から血を流し……た。……

それゆえ、わたしは再びあなたに命じる。悔い改めなさい。そうしなければ、わたしは全能の力によってあなたをへりくだらせよう。また、あなたの罪を告白しなさい。そうしなければ、あなたはわたしが語ったこれらの罰を受けて苦しむであろう。」(教義と聖約19:15-16, 18, 20)

わたしは意識を失っていた数日間に、聖霊の賜物と力により、主の使命についてさらに完全な知識を与えられました。また、忠実な人がすべて救われるように、主の御名により、権能を行使して天の王国の奥義を明らかにするとはどういう意味か、さらによく理解できました。神会の御一方である主が、裏切られ、不正に裁かれ、鞭打たれたという事実を、わたしの魂は何度も何度も繰り返し教えられました。弱った体で十字架をかつぎ、丘を登って行かれる主を見ました。十字架が地面に置かれ、その上に主の体が横たえられました。そして、槌で、手のひらと、手首と、足に、ごつごつした大釘を打ち込まれ、十字架にかけられて群衆の前にさらされたのです。

十字架で主が受けられた身の毛もよだつほどの痛ましい死は、時の初めから定められていました。この堪え難い死によって、主は「万物の下に身を落とし」復活を通して万物の上に昇られたのです(教義と聖約88:6参照)。

イエス・キリストは、だれもが経験するように、文字どおりの意味でお亡くなりになり、主の遺体は墓に横たえられました。しかし、人類の救い主として選ばれた不死不滅のイエスの霊は、この世を去った無数の霊たちのところへ行かれました。この霊たちは、神の律法に対する義に関して様々な段階にありました。主はこの霊たちに、死の束縛から贖われ……救われる可能性があるという栄光に満ちた知らせを伝えられました。これは救い主に予任されていた、全人類に対する独特な務めの一部でした。¹

これらの光景から受けた深い感銘を、皆さんにどう伝えたらよいか分かりません。一つ一つの光景に永遠の意義を感じ、そしてすでに宣言された次の言葉と同じ理解を得ました。「すべての中で最も卓越した出来事である主の贖いの犠牲は、救いの計画全体の中で、その重要性において群を抜いている。それは、披造物の歴史の中でただ一つの最も重大な出来事であり、福音やそのほかあらゆるものの基盤となる岩である。」²

父リーハイは息子ヤコブ



せい さい
聖餐で行う
最も貴重な
聖王 礼拝は、
聖餐の聖なる儀式です。
なぜなら、
その儀式を通して
わたしたちは
救い主とその犠牲に
思いと心を向けることが
できるからです。

と現代のわたしたちに次のように教えています。

「したがって、贖いは聖なるメシヤによって、またメシヤを通じてもたらされる。それは、メシヤが恵みと真理に満ちておられるからである。

見よ、メシヤは律法の目的を達するため、打ち砕かれた心と悔いる霊を持つすべての人のために、罪に対する犠牲として御自身をささげられる。このような人々のためにしか、律法の目的は達せられないのである。

したがって、これらのことを地に住む者に知らせて、聖なるメシヤの功德と憐れみと恵みによらなければ、だれも神の御前に住める者がいないことに気づかせるのは、何と大切なことであろうか。聖なるメシヤは、肉において御自分の命を一度捨て、そして、死者の復活をもたらすために御霊の力によって再びそれを得て、最初によみがえる者となられる。

したがって、メシヤは神にとって初穂となられるので、すべての人の子らのために執り成しをしてくださる。だから、メシヤを信じる者は救われるのである。」(2ニーファイ2：6-9)

聖餐で行う最も貴重な礼拝は、聖餐の聖なる儀式です。なぜなら、その儀式を通してわたしたちは救い主とその犠牲に思いと心を向けることができるからです。

使徒パウロは初期の聖徒たちに、「ふさわしくないままでパンを食し主の杯を飲む」ことのないように警告しました(1コリント11：27-30参照)。

わたしたちの救い主御自身もニーファイ人にこのように教えられました。「ふさわしくないままでわたしの肉を食べ、血を飲む者は、そうすることで自分に罰の定めを招くからである。」(3ニーファイ18：29)

ふさわしい状態で聖餐を頂く人は、主と調和していて、「世の罪のために主が払われた犠牲をいつも覚え、御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守る」という聖約を主と交わします。救い主は、「あなたたちがそのようにするならば、御霊があなたたちとともにあり、もし最後まで忠実であれば、あなたたちは永遠の命を受け継ぐ」と聖約されます。

主はジョセフ・スミスにこのように啓示されました。「救いの賜物に勝る大いなる賜物はない……。」(教義と聖約6：13) この救い主の計画には、救い主の贖いの犠牲を常に思い起こすための聖餐の儀式が含まれます。また、主は次のように指示されました。「教会員は、主イエスの記念としてパンとぶどう酒を受けるために、しばしば集まる必要がある。」(教義と聖約20：75)

不死不滅は、義にかなった行いをしなくても、神の恵みによる無償の賜物としてすべての人に与えられます。しかし永遠の命は、福音の律法と儀式に従う人に報いとして与えられるのです。

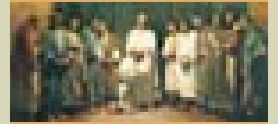
わたしは、天の御父がわたしたちの義にかなった願いを聞き届けてくださることを皆さんに証します。新たに授けられたこの知識により、わたしの人生は大きな影響を受けました。聖霊の賜物は貴重な財産であり、神と永遠の喜びについてわたしたちがさらに多くの知識を得られるように、その扉を開くものです。■

1989年10月の総大会における説教から。

注

1. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』652-653参照
2. ブルース・R・マッコスキー, *Mormon Doctrine*, 第2版(1966年), 60





悔い改めの喜び

七十人
クレグ・C・クリステンセン長老

救い主は地上での教え導く務めを通して、神の息子や娘一人一人、特に罪を犯した人々への大きな愛を示されました。主は、迷い出た羊、失くした銀貨、放蕩息子などのたとえの中で、道から外れ、迷い出た人々に手を差し伸べることの大切さと、彼らが戻って来たときに感じる喜びを強調しておられます(ルカ15章参照)。例えば、主はこう教えられました。「罪人がひとりでも悔い改めるなら、悔改めを必要としない九十九人の正しい人のためにもまさる大きいよこびが、天にあるであろう。」(ルカ15:7)

わたしは、悔い改めた人々が感じる大きな喜びと、わたしたちが悔い改めの過程を踏む人々を助けるときに感じる喜びに焦点を当てたいと思います。

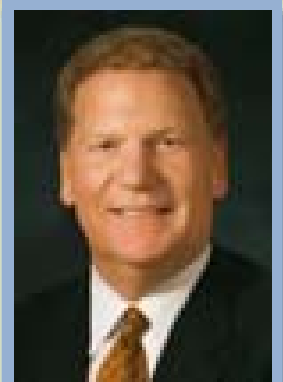
「人が存在するのは喜びを得るためである」

喜びというのは、ただつかの間の満足感や幸福感よりもっと深いものです。ほんとうの喜び、つまり「永遠の喜び」は(2ニーファイ8:11)、心から悔い改めて、主イエス・キリストによって罪から贖われ、永遠の命を受け継ぐことができるという霊的確認を得ることで、贖いの力を経験することから得られるのです。

わたしたち一人一人のための天の御父の計画は、「喜びを得る」ために与えられており(2ニーファイ2:25)、永遠の喜びを得るための唯一の確実な道はイエス・キリストの贖いによるのであると、預言者リーハイは教えています。

この世で満ちみちる完全な喜びを得ることはできませんが(教義と聖約93:33-34参照)、福音に従って生活することによって、日々喜びを目の当たりにすることができます。モルモンは忠実なニーファイ人について語ったときに、喜びを見いだす一つの規範を教えました。

「それでも彼らは、しばしば断食して祈り、ますます謙遜になり、ますますキリストを信じる信仰を確固としたものにしたので、喜びと慰めで満たされ、まことに清められ、心の聖めを



真の幸福とは、
罪を悔い改め、
御霊を受けるに
ふさわしい生活を
することによって
得られることが
分かります。



生あがな活の中に 贖いの効力が 及ぶとき、

わたしたちは
救い主とその無窮の
賜物について考え、
主を信じる信仰を
働かせなければ
なりません。
また、主は
わたしたちの罪や
弱点をすべて
贖うことができになり、
罪から確かに
贖ってくださる、という
霊的な確認を
求めなければ
なりません。

受けた。この聖めは、彼らが心を神に従わせ
たために受けたのである。」(ヒラマン3：35)

聖霊によって喜びに満たされる

預言者たちは数々の聖文の中で、喜びを感じることと聖霊を感じることを同様の言葉で表しています。例えば、使徒行伝には、「弟子たちは、ますます喜びと聖霊とに満たされていた」と記されています(使徒13：52)。さらに主は、

御自身に従う人々にこう約束されています。「わたしはあなたにわたしの御霊を授けよう。わたしの御霊はあなたの思いを照らし、あなたの霊に喜びを満たすであらう。」(教義と聖約11：13)

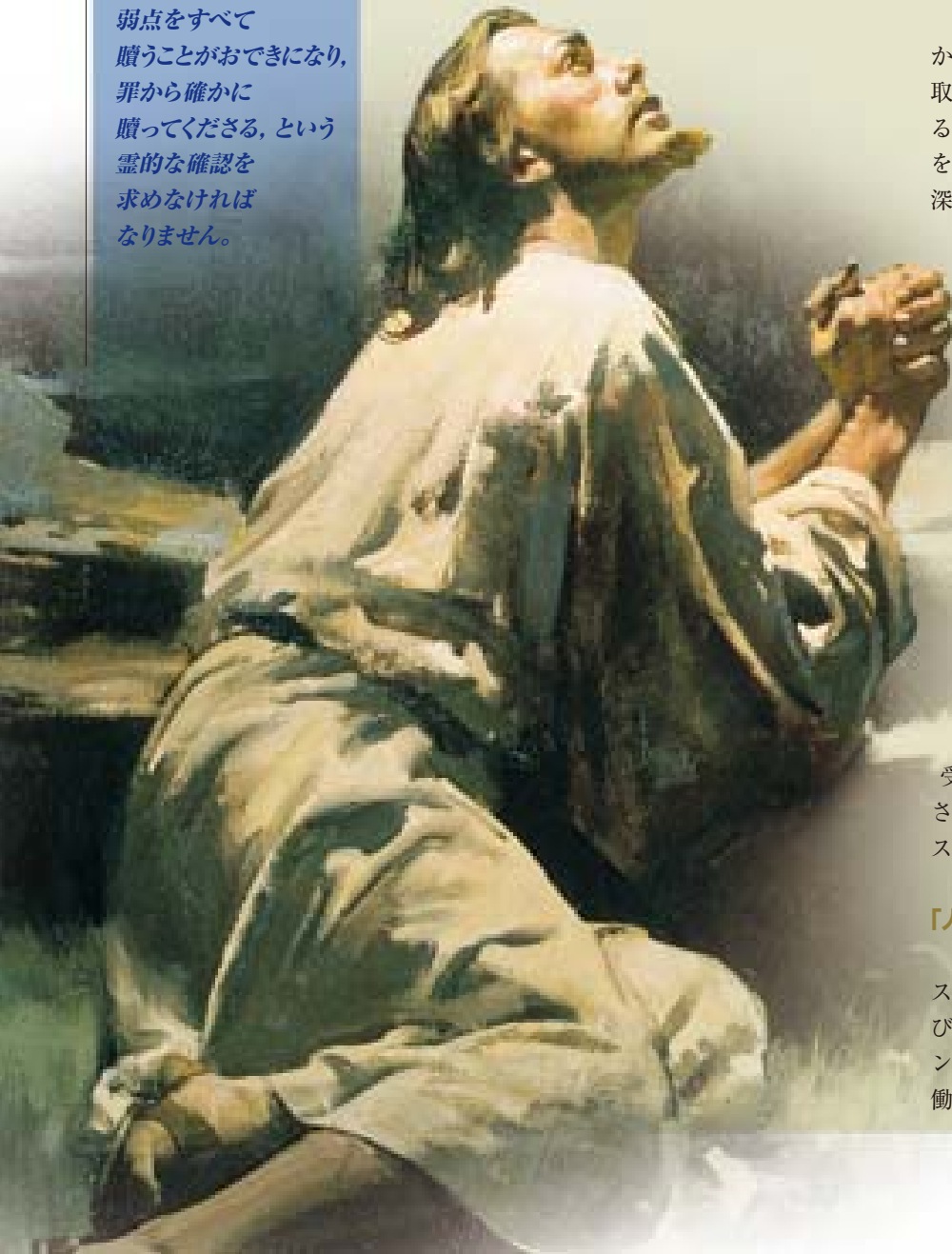
喜びに満たされることには聖霊に満たされることが伴うことを理解すると、真の幸福とは、罪を悔い改め、御霊を受けるにふさわしい生活をするによって得られることが分かります。また御霊を感じると、神の前に聖められたことを知って、大きな喜びを見いだせるのです。

悔い改めを通して得られる喜びには、幾つかの種類があります。第1は、罪という重荷が取り除かれることで、悔い改めた人が心に感じる喜びと安らぎです。第2は、悔い改めの過程を進む人を助けるときに、周りの人々が感じる深い喜びと愛です。そして最後は、わたしたちが主の勧告に従い、贖いの犠牲の癒しの力に頼る姿を見て、愛にあふれる救い主が感じられる喜びです。

生活の中に贖いの効力が及ぶとき、わたしたちは救い主とその無窮の賜物について考え、主を信じる信仰を働かせなければなりません。また、主はわたしたちの罪や弱点をすべて贖うことができになり、罪から確かに贖ってくださるという霊的な確認を求める必要があります。このようにして、御霊によってのみ現される愛と平安を感じることができます。わたしたちはゼラヘムラの人々と同じような経験をするでしょう。「主の御霊が彼らに降られた。そして彼らは、罪の赦しを受け、良心の安らぎを得たので、喜びに満たされた。それは……将来来られるイエス・キリストを深く信じたためである。」(モーサヤ4：3)

「人々を悔い改めに導き」

贖いの祝福から来る喜びを感じたら、キリストのもとに来るよう人々を招くという大きな喜びも得ることができます。アルマは息子ヒラマンに次のように教えました。「わたしは絶えず働き続け、人々を悔い改めに導き、わたしが味



わった非常な喜びを味あわせ、彼らも神から生まれ、聖霊に満たされるようになってきた。

そして、わが子よ、見よ、今主はわたしの労苦の結ぶ実によって非常に大きな喜びをわたしに与えてくださっている。」(アルマ36：24-25)

救い主御自身もこうお教えになりました。「あなたがたはこの民に悔い改めを叫ぶことに生涯力を尽くし、一人でもわたしのものに導くならば、わたしの父の王国で彼とともに受けるあなたがたの喜びはいかに大きいことか。

さて、あなたがたがわたしのものに導い[た]、一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのものに導くとすればその喜びはいかに大きいことか。」(教義と聖約18：15-16)

「人が悔い改めるとき、主の喜びはいかに大きいことか」

最後の項目として、わたしは人が自分の罪を悔い改め、主の贖いの犠牲の効力が生活に及ぶ度に、主が充足しておられる御姿を想像せずにはいられません。ヨハネは救い主の気持ち^{みすがた}を次のように代弁しています。「わたしの子供たちが真理のうちを歩いていることを聞く以上に、大きい喜びはない。」(3ヨハネ11：4)キリストは御自分のことをこう語っておられます、「人が悔い改めるとき、主の喜びはいかに大きいことか。」(教義と聖約18：13)

イエスは贖いについて、また染みのない状態で御自身の前に立つためにしなければならないことについてニーファイ人にお教えになった後、彼らに対して抱いている感情を表されました。「わたしの喜びは、大きくて限りがない。また父も、あなたがたこの時代の人々のことを喜んでおられ、すべての聖なる天使たちも喜んでいて。だれ一人、失われていないからである。……そして、彼らのことでわたしは満ちみちる喜びを得ている。」(3ニーファイ27：30-31)

わたしたちも「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見」ることで、この世では喜びを、次の世では満ちみちる喜びを得ることができると証します。そのイエスは、「自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわな^{あかし}いで十字架を忍び、神の御座^{みざ}の右に座するに至ったので」(ヘブル12：2、強調付加)。

悔い改める人に与えられる喜び

わたしたちは使徒パウロや息子アルマの経験を学ぶことによって、心から悔い改めた後に与えられる喜びについて知ることができます(使徒8：1-3；9：1-31；モーサヤ27：8-31；アルマ36：5-24参照)。たとえ、わたしたち自身の経験がそれほど劇的ではなかったとしてもです。影響力の強い人であったパウロとアルマは、あちらこちらで聖徒たちを迫害しました。そのような破



壊的行為をしているさなか、二人とも天の使いからの訪れを受けました。アルマには主の天使が現れ、パウロには主自らがなぜわたしを迫害するのか」と呼びかけられたのです(使徒9：4)。

二人とも、自分が見聞きしたことに驚いて地に倒れました。アルマは物が言えなくなり、パウロは目が見えなくなりました。そしてさらに重要なこ

とに、二人とも邪悪で墮落した状態から同じように生まれ変わりました。パウロは簡潔にこう言いました。「主よ、わたしは何をすべきでしょうか。」(欽定訳使徒9：6から和訳)パウロはすぐさま自分の生き方を救い主に従わせ、主の指示どおりに行いました。アルマは自分の悔い改めについてこう記しています。

「そして苦痛に責めさいなまれていたときに、わたしは自分の多くの罪を思い出してひどく苦しみながら、見よ、かつて父がイエス・キリストという御方の来臨について民に預言するのを聞いたことを思い出した。イエス・キリストは神の御子であり、世の罪を贖うために来られるというのである。

心にこの思いがはっきりと浮かんできたとき、わたしは心の中で、『おお、神の御子イエスよ、苦汁の中におり、永遠の死の鎖に縛られているわたしを憐れんでください』と叫んだ。

さて見よ、このことを思ったとき、わたしはもはや苦痛を忘れることができた。まことに、わたしは二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった。

おお、何という喜びであったことか。何という驚くべき光をわたしは見たことか。まことに、わたしは前に感じた苦痛に勝るほどの喜びに満たされたのである。」(アルマ36：17-20、強調付加)

七十人、クレグ・C・クリステンセン長老

ケープタウンの 記録づくめの スカウト

彼は、南アフリカの歴史上、
スプリングボック・スカウト*と呼ばれる
スカウト最高章を3度も受章した
3人目のスカウトですが、
神への務め達成賞を受賞した
最初のスカウトにもなりました。

(*訳注——アメリカの「イーグルスカウト」、日本の「富士章」に相当する)

ポール・バンデンバーク

教会機関誌

どこの国に住んでいようと、スカウトの最高章を獲得するためには、並々ならぬ努力が必要です。そのような章を3度も獲得するにはどれほどの努力が求められるか想像してみてください。ロコ・ドゥー・プレシスは、南アフリカの第1エッジミード隊26年の歴史の中で初めてスプリングボック・スカウトになりました。ですから、3度もスプリングボック・スカウトの章を獲得することは、大変な偉業なのです。

さらに、ロコは昨年もう一つの賞を獲得しました。彼にとっては同じように大切な賞です。「神への務め達成賞をも

らったおかげで、いっそう個人的な成長や霊的な成長を遂げることができます。この賞は天の御父とどのような関係を築いたかによって頂ける賞ですから」と彼は語ります。

「このスカウトプログラムはすごく厳しいですよ。」そう語るロコは、南アフリカ・ケープタウンステーク、パノラマワードの会員です。スプリングボック・スカウト章を受章するには、険しい道が待っています。もちろん、スカウトの指導者たちは助けてくれます。それでも、険しいことには変わりはありません。「ほんとうに一生懸命取り組まないと、また、必死で自分の責任を果たさないと、絶対にもらえません」とロコは説明します。スカウトプログラムの中で進級を続けながら、時間をかけ、計画を立て、努力して全部の章を獲得していくことでようやく受章につながります。南アフリカでは、スカウトプログラムは教会が後援しているわけではないのです。

神への務め達成賞について、ロコはこう言っています。「両親と若い男性の指導者の支えが大きかったですね。彼らは、わたしたちが神への務め達成賞を獲得することを、強く望んでいます。でも、達成条件の大半は、すでに毎日行っていることなんです。」そうすると、あとは、両親や指導者と一緒になって、それぞれの分野の成長をきちんと記録することが大切になります。「普通のモルモンだったら、普通の生活をしていれば、神への務め達成賞の条件の大半は満たすことができます。ちゃんと実行していればですけどね。」つまり、教会の集会に出席し、いつも祈り、聖文を勉強して、神権の義務を果たしている若い男性なら、受賞への道をまっすぐに歩んでいることになるということです。

スプリングボック・スカウトになること

南アフリカ全国を見回しても、最高章を受章できるスカウトは全スカウトの1, 2パーセントにすぎません。そして、エクスペローラーに進級するための3つの条件の一つでも満たすことのできる人は、このスプリングボック・スカウトを受章した人のほんの1, 2パーセントの人しかいません。ロコは、その条件を3つとも満たして、南アフリカの歴史の中でも、その偉業を達成した3人目のスカウトになったのです。

南アフリカのスカウトプログラムでは、スカウトは、「パスファインダー(開拓者)」から「アドベンチャー(冒険者)」そして「ファーストクラス(第1級)」「エクスペローラー(探検者)」へと進級していきます。「エクスペローラー」のバッジは3部





ロコは、
神への務め達成賞を
獲得することで、
個人の成長の面でも
霊的な成長の面でも
大いに役立ちました
と言っています。

左ページ——

ロコと母親のサリー、
父親のアンドレ、
弟のジーンジャック。

下左——

スプリングボック・
スカウト章の
獲得の条件の一つを
満たすために、
3日間のハイキングに
スカウトのグループを
引率するロコ。

下右——

ケープタウンの
末日聖徒のスカウトが
運営する
シダーバーグ
射撃練習場で
射撃練習に励むロコ。





上—
「航空エクスプローラー」
の条件の一部を
達成するために、
シダーバーグの
未開地から飛び立ち、
航空術について
学ぶロコ。

左下—
シダー山系の
ハイキングのために、
10人のスカウトを
引率する指導者の一人
として働くロコ。

右—
年に1度の大会で
いかだを作る
スカウトたち。

左下—
ロコの設計した橋を
建設するために
一緒に働く
スカウトたち。
右ページ—
橋の模型と
丸太を持つロコ。



門に分かれていて、それぞれ「陸上スカウト」「航空スカウト」「海上スカウト」と呼ばれています。普通、スカウトは、このうちの一つの部門を選んで専念し、最後の達成章であるスプリングボック・スカウトを目指して努力するわけですが、ロコは、3つとも選んで取り組んだのです。

ほかのバッジや条件に加えて、エクスプローラーのそれぞれのタイプには、必ず獲得しなければならないバッジがあります。「陸上エクスプローラー」は「バックウッズマン(辺境開拓者)」と「マッピング(地図測量者)」のバッジを獲得し、「航空エクスプローラー」は「エアー・ナビゲーター(航空案内人)」と「エアー・トラフィック・コントローラー(航空管制人)」を獲得し、「海上エクスプローラー」は航海やボートこぎの技術に対して、「ヘルムスマン(操舵手)」と「ボートマン(漕手)」のバッジを獲得する必要があるわけです。

ロコの説明によれば、それぞれの段階の章を獲得するためのバッジコースに参加するためには、普通は週末を2回は利用しないといけないのだそうです。まず、ホワイトバッジというものがあるわけで、そこで、技術の裏づ

けとなる理論を勉強します。次にはグリーンバッジというものがあり、技術の実際面での応用を学習します。例えば、「バックウッズマン」のバッジを獲得するためには、まず、屋外でのサバイバル、星による位置確認、マッチを使わずに火を起こす方法といったことを頭で学びます。次に実践面での応用となります。人里離れた森の中に、48時間放置され、そこで自力で生活することが求められるのです。

そのため、ロコは、この数年間、スカウトのために実に忙しい時間を過ごしています。例えば、昨年の場合、2月から12月までの間、週末はほとんど留守にしました。「まるで、バッジコースに永遠にかかりきりみたいになったんです。」彼は、それに加えて、過去5年間はスカウト隊の隊長も務めてきました。つまり、隊のキャンプを何から何まで計画し調整する責任を受けていたということです。食事の計画、買い物、隊の集会の調整、ほかのスカウトやその親が署名するための同意書の作成、キャンプ生活全体の監督といったことをする必要があったわけです。

章獲得の途中でロコが学んだ大切な資質の

一つは、頑張り抜くことです。「頂いたバッジの少なくとも半分は、1回目の試験で合格したものではないんです。不合格になると、半年以内に、もう一度試験を受け直すか、すでにバッジを持っている大人から試験をしてもらうかのどちらかになります。」例えば、救急法の技能章を獲得する条件の一つに包帯術があります。「わたしの結んだ包帯の結び目の一つがほどけてしまったために、不合格になったんです。そのおかげで、救急法の第2段階を合格するためには、包帯術の部分だけをやり直さないといけなかったのです。」

バッジの獲得だけでなく、スカウトには、スプリングボック・スカウトになるために完成させないといけないプロジェクトがほかにもあります。その一つが、建築プロジェクトです。ロコは橋の建設をすることにしました。そのためには、まず橋の設計をし、模型を造る必要があります。それから、ほかの6人のスカウトと協力して、高さ20フィート(約6メートル)、長さ30フィート(約9メートル)の実物大の橋を造る必要があったのです。橋の建設とその解体には、9時間近くかかりました。

さらに、地域奉仕活動というものがあります。これは、スプリングボック・スカウトを獲得するにも、神への務め達成賞を



獲得するにも、大きな要素となるものです。スプリングボック・スカウトの奉仕活動の条件を満たすためには、40軒以上の老人を訪問して、様々な雑用や修理をして手伝う必要がありました。「スカウトの方でも神への務め達成賞の方でも、両方を満たす大きなプロジェクトと言えば、40時間の奉仕活動しかありませんでしたね。」ロコはそう言っています。

様々な章を獲得するために達成したあらゆる条件の中で、自分の個人の成長のために最も価値があったと思われるも

のは何だったかについて、ロコはためらうことなくこう述べています。「それはモルモン書を読むことです。それが、あらゆる条件の中で最大で最も有益なチャレンジでした。」

宣教師になる

「わたしは1年ほど前に、1度モルモン書を読んでいました。でも、もう1回読んでみようと思ったのです。」ロコの説明に耳を傾けてみましょう。「モルモン書を改めて読み始めたとき、モルモン書を学んで、その証^{あかし}を得たいと、強く思ったのです。」モルモン書の2度目の読み方は、最初のときとはまったく違っていました。「今は読む前にいつも、天の御父の御霊^{たま}が読み進める自分のうえにとどまるよう祈っています。」

ロコはすでに次の大きなプロジェクトに向かって歩み出していました。もっと積極的に自分の証を分かち合えるよう、専任宣教師として奉仕する準備を進めたのです。彼がスカウトとして経験したことや神への務め達成賞を獲得したことは、個人の成長という面でも、宣教師になるという面でも、大きな力となりました。「福音を広めるためには、モルモン書に書かれている内容について知る必要がありましたし、またそれが真実の書であることを知る必要もあったのです。」ロコはこう言っています。「モルモン書を2度読んで、わたしはその証を得ることができました。」

「以前から宣教師として奉仕できるよう備えたいと思っていたので、たとえ神への務め達成賞というものがなかったとしても、その条件の大半は満たしていたでしょうね。」教会に出席すること、聖文を読むこと、毎日祈ること、奉仕をすること。こうしたことは、すでに現在のロコの生活の一部となっています。そして、それは末日聖徒が日々の生活で当然行うべきことでもあるのです。

ロコは最近、専任宣教師として奉仕する召しを受けました。ドゥー・プレシス長老の築いた証は、スプリングボック・スカウトの建築プロジェクトで築いた丸太橋よりもはるかに有益なものとなっています。それでも、スカウトとして学んだバックウッズマン、つまり辺境開拓者としての技術の一部は、生かされることがあるかもしれません。彼は、ザンビアのジンバブエとマラウイで奉仕するよう召されたからです。■



THE
BOOK
OF
MORMON

ANOTHER TESTAMENT
OF JESUS CHRIST

質疑応答

「教会の友達の一人が福音の標準を幾つか守っていません。とても心配していますが、どのように助けてあげられるでしょうか。」

『リアホナ』からの提案

友達になって助けてあげられます。その友達は自分自身は何者であるかを理解し、受け入れてくれる場所を探しているのかもしれませんが。話をしたり、一緒に良い活動に行ったりして模範を示してくれる人が必要です。独りよがりになったり批判的になったりせずに、あなたが主の標準に従って祝福を受けた経験を伝える機会を見つけてください。

あなたの標準を高く保つようにしてください。いかなる場合でも友達を助けるという名目で自分の標準を下げてはいけません。聖霊のささやきが聞こえなくなるような状況を避けてください。あなたの友情や心配にもかかわらず、その友達は間違った選択を続けることもあります。このような場合、一緒になって自分の標準を下げるよりは、むしろ別の友達を選ばなければならないかもしれません。

祈る時間を取る。その友達について祈るだけでなく、自分自身のためにも祈ってください。友達を助ける機会が来るように、またその機会にあなたが気づき、そこで導きを受けられるように祈ってください。ただ自分の思いどおりに相手を変えようというのではなく、友達を思うキリストのような愛が手助けの動機となるよう祈ってください。そして行動するのです！

あきらめないでください。その友達は恐ら

友達を助けるために
自分の標準を
下げてはいけません。

何をすべきかを
聖霊が教えてくださるよう
に祈り行動しましょう！

友達の人生に
大きな影響を与えるため、
天の御父があなたを通して
御業を行われることを
信じましょう。

友達が聖霊を感じて
正しい選択をしたい
と思えるよう、
お互いを高められる活動に
誘ってください。

友達があなたを見て、
戒めを守れば幸せになれる
と感じられるような
模範となってください。

くすぐには変わらないでしょう。根気強く、誠実な努力が求められます。あなたの言葉や模範がどれほどの影響力を持つか、今は分からないかもしれませんが。それでも友情を示すなら、いずれすばらしい結果を生むこともあるのです。モルモン書の預言者ヤコブは、息子のエノスが自分の教えに注意を払っていないと思ったかもしれません。しかしある日、エノスは「度々聞いていた……父の言葉」を思い出し悔い改めました(エノス1:3-5参照)。あなたの言葉と模範は、たとえ今すぐにはなくても影響力があるのです。

友達を仲間に入れてあげましょう。羊飼いが99匹を残し、迷った1匹の羊を捜しに行ったという救い主のたとえを思い出してください。羊を見つけた羊飼いは一人で群れに戻ったわけではありません。一緒に戻って来たのです。(ルカ15:4-7参照)。高い標準を持つ人々の集まる活動に友達を招いてください。そのような経験を通して、友達は義にかなった生活をすればどのような祝福が得られるのかを知り、高い標準を持つ人々と一緒にいることを快く感じられるようになります。あなたの友達は、こうした活動で味わう幸福感が、不従順から得られる一時的な楽しみよりも好ましいことにきっと気づいてくれるでしょう。



読者からの提案

友達に手を差し伸べようとするときには、主が助けてくださることを忘れないでください。なぜなら主も、あなたの友達が良い選択をすることを願っておられるからです。ニーファイが民を助けようとしたとき、主はニーファイに次のように言われました。「わたしはあなたを言葉にも行いにも、……力のある者にしよう。」(ヒラマン 10:5, 強調付加)そして主は実際にニーファイを力のある者とされたのです。あなたの時間と労力を差し出すなら、天の御父はあなたを通して御業を行われます。



続けて友達でいてください。その友達はあなたを尊敬し、あなたのすることに注意を払っています。恐らくはあなたのようになりたいたいと思いつつも、どうすればよいのか分からずにいるのでしょう。その友達の意見や行動すべてに合わせる必要はありません。ただいつもあなたが助けたいと願っていることを示してあげてください。大変なときもあるかもしれませんが、それだけの価値があります。主に助けを求めてください。そうすればうまくいきます。

アメリカ
ステファニー・C, 16歳

わたしには長い間熱心に教会に通っていた友達がいました。家族は教会から離れていたため、彼はいつも独りで来ていました。その意志の強さと勇氣にわたしは感心していました。ところがある日、彼がもう教会に来ていないということを聞きました。彼と話をすべきだと聖霊に強く促されたわたしは、独りで教会に来ていたことにどれほど感心していたかを話し、あきらめないでほしいと言いました。

その次の日曜日、彼は聖餐会^{せいさん}に来ました。以来熱心に教会へ来ています。わたしたちは、信仰深く福音に添った生活をするので、友達の模範として必要な愛を示し、助けてあげることができます。

スウェーデン
マリナ・M, 18歳



その友達と率直に話すことがいちばんだと思います。同時に優しく話すようにしてください。勇気が必要なので、祈った後に話すといいと思います。そうすれば助けが得られます。

わたしもそのような友達がありますが、彼らと一緒に日の栄えの王国に行きたいので、良い方向に導けるよう努力しています。人に良い影響を与えるためには自分を変えることも必要だと思います。少しでも善い人になるために毎日努力することは大切なことです。

日本
栄美・H, 17歳

良い模範となる必要があります。青少年の活動に誘ってください。あなたが一緒に行くならより効果的です。福音の標準に従ったときに受けた祝福について、あなたの証^{あかし}を伝えてください。

フィリピン
ジャレド・Q, 16歳



幾つかの教会の標準に従わない友達がありますが、それについてわたしの気持ちを伝えなかったことを後悔しています。どう感じているかをあなたの友達に伝え、その人ために祈ってください。自分の標準を下げないように気をつけながら、引き続き友達でいてください。友達の抱えている問題が深刻であればビショップに話しましょう。

アメリカ
デボラ・S, 14歳

友達とは、福音の原則から外れない娯楽や健全な活動をするようにしています。こうすることで、友



「多くの若人が間違った方向に引きずられ、世の罪に染まるように誘惑されています。そのような人々は、確固として真理を守る力を備えた強い人を探し求めています。義になかった生活を送り、助けの手を差し伸べ思いやりを示すことにより、そのような人を助け救うことができます。そうすれば、どんなに大きな喜びを味わえることでしょう。あなたが与える祝福は永遠に続くのです。」

トーマス・S・モンソン管長
大管長第一顧問
「信者の模範」
「聖徒の道」1993年1月号、
111

達は間違ったことをしなくても楽しめる方法がたくさんあると分かります。友達が間違ったことをしそうなときは同調せず、相談に乗ったり、模範によって強めてあげたりします。話をしてあなたが気にかけていることを知らせ、弱さが強さになることを気づかせてあげるとよいでしょう(エテル12:27参照)。意志決定をするのはその人自身ですが、あなたが役に立ちたいと願っていることを知らせてあげましょう。自分をしっかり持って、友達の行動に影響されないようにすることも必要です。

エクアドル
ジョージ・B, 17歳



模範がとても大切です。また、いつも友達のために祈り、助ける方法を探することもできます。友達に語るべき言葉を天の御父が与えてくださるよう断食して、幸せになるためにはなぜ福音に添った生活が必要なのかを友達が理解できるよう助けてあげてください。

ウルグアイ
バージニア・C, 17歳

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

質問

「友達が、「イエス・キリストは道徳上の偉大な教師であるが、救い主や神の子ではない」と言うときどのように答えたらいいでしょうか。」

あなたの意見を聞かせてください

氏名、生年月日、住所、ワードおよびステーク(または支部および地方部)を明記のうえ、写真を添えて(写真掲載に対するご両親の承諾書とともに)、下記まで郵送か電子メールでお送りください。

あて先— Questions & Answers 5/07
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
電子メールアドレス—
liahona@ldschurch.org

2007年5月15日必着で送付してください。■

貧しい人や助けを必要としている人の世話をすることによって、神の御手に使われる者となる



以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。自分の経験や証^{あかし}を伝え、あなたが教える人々にも同様に分かち合うように勤めてください。

貧しい人や助けを必要としている人の世話をすることについて、主は何と言っておられるでしょうか。

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン長老——「わたしたちの天の御父は〔貧しい人や助けを必要としている人〕に関心を持っておられます。皆、天の御父の子供です。……貧しい人、特に、寡婦、孤児、旅人は、長い間、神および信心深い人々の関心の対象になってきました。……貧しい人を世話する人には、祝福が約束されていました。」「〔主の道にかないて〕『聖徒の道』1986年7月号、26参照」

マタイ25：37-40——「そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう。『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。』

いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せましたか。

また、いつあなたが病気をし、獄にいるのを見て、あなたの所に参りましたか。』

すると、王は答えて言うであろう。『あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。』」

どうしたらほかの人々の世話を主の御手に使われる者となれるでしょうか。

モーサヤ4：26——「あなたがた〔は〕自分の持っている分にに応じて、それぞれ持ち物を貧しい人に分け与えるようにしてほしい。例えば、飢えている人に食べさせ、着る物のない人に着せ、病人を見舞い、各々の入り用にに応じて霊的にも物質的にも助けを与えることである。」

十二使徒定員会 ヘンリー・B・アリング長老——「わたしは、ホームティーチングや家庭訪問の責任を単に教会のプログラムであると考えようなことは二度としないつもりです。……そのような働きは特別な機会であり、重荷ではありません。……すべての会員は救い主がなさるような親切な行いをする^と聖約しました。したがって、証を述べたり、人の世話をしたりするよう頼まれたとしても、それは何か普段とは違う特別な奉仕をするように求められていることにはなりません。そのような機会はむしろ、愛にあふれた天の御父と御子イエス・キリストが計画された祝福なのです。……一つ一つが、聖約の民であることからどのような祝福が得られるかを証明する機会となり、

責任をもって果たすと約束したことを実行する機会となるのです。」「〔神の証人〕『聖徒の道』1997年1月号、36参照」

管理ビショップ H・デビッド・バートンビショップ——「預言者ジョセフ・スミスは『助けを必要とする人に気づいたら、相手が当教会の会員であれ、あるいはほかの教会に集う人やどの教会にも属さない人であれ、どのような場所においても、飢えている人には食べ物を与え、着る物のない人には服を着せ、寡婦を助け、孤児の涙をぬぐい、悲しむ人に慰めを与えること』がわたしたちの責任であると教えています（Times and Seasons, 1842年3月15日、732）わたしたちが苦しむ人々の世話をするために惜しみなく時間を用い、多くのささげ物をする^とができますように願っています。」「〔あなたも行って同じようにしなさい〕』『聖徒の道』1997年7月号、90参照」

中央扶助協会会長 ボニー・D・パーキン——「〔十分にあり余っている〕主の倉とは、主がわたしたちの内に備えてくださっている能力〔を象徴的に表した言葉〕です（教義と聖約104：17）。

主の倉とは、ほかの人を助けようとする女性のことです。

孤独そうに見える姉妹の話に耳を傾け、話し相手になろうとする姉妹のことです。家庭訪問先の姉妹と親密な友情を築く姉妹です。自分に与えられた力と技術と才能でほかの人の生活を祝福するわたしたち姉妹なのです。」「（"Welfare, the Crowning Principle of a Christian Life," BYU Women's Conference, 2003年5月1日、3）■



ヤングアダルトへの 3つのメッセージ



七十人会長会
アール・C・ティンギー長老

もし神に関する事柄を
第一にするなら、
良い決断をすることが
できるでしょう。
天の御父と
御子イエス・キリストの
みもとに帰り、
ともに住むふさわしさを
身に付けていなければ、
永遠の観点において
すべては無意味です。

愛 する友であるヤングアダルトの皆さん、皆さんはすばらしい約束の時代に生きています。歴史的に見ても、これほど選択や成功の機会に恵まれていた時代はありません。

皆さんが世の中で自分の道を切り開くに当たって、伝えたいことが3つあります。すなわち、末日聖徒イエス・キリスト教会の活発な会員であり続けること、将来のために今備えること、そして結婚の責任を進んで受け入れることです。

教会に活発に集う

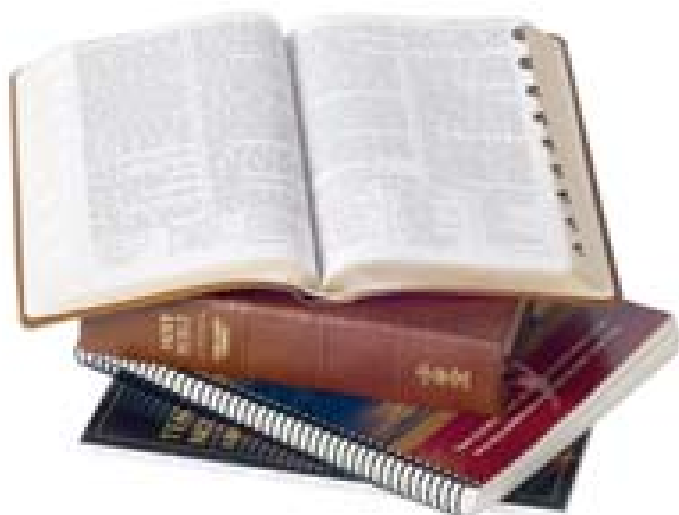
良い教育を受け、就職し、結婚のために備える中で、教会に活発に集うことを常に念頭に置くべきです。

独身のヤングアダルトは、転居する機会が多くあります。あちらこちらへ引っ越し、住所や電話番号が変わります。教会指導者であるわたしたちは、皆さんと連絡が取れなくなると、心が痛みます。このような状況になると、皆さんに教会の召しを受けるよう

に勧めたくても、教会員としてすべての祝福とともに味わいたくても、連絡が取れないのです。

指導者が最も心配していることの一つは、多くのヤングアダルトがユニットに根付いておらず、ビショップに自分のことを知ってもらっていないことです。すべての教会員は、ビショップや支部会長に自分のことを知ってもらうべきであり、ビショップや支部会長に自分の状況を報告する義務があります。このような関係を築くことにより、神権の儀式に参加する機会を得たり、面接を受けたり、ふさわしいときに神殿の推薦状を得たり、教会の召しを受けたりすることができます。

神権の鍵を持つ指導者と明確なつながりが



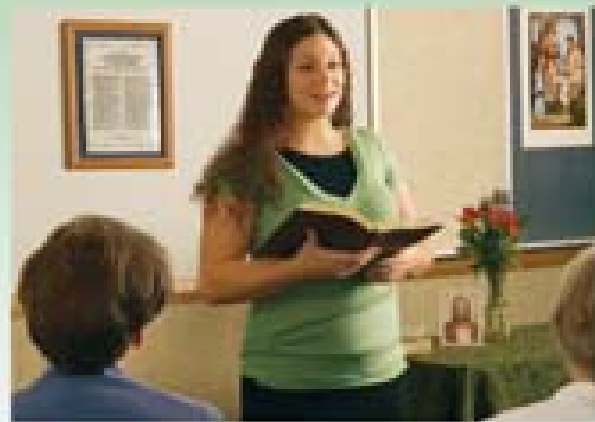


あるべきです。自分にはビショップが二人いるという人には、実際にはビショップが一人もいません。出席しているワードに自分の会員記録がないために召しを受けていないようであれば、いずれ自分が教会の指導者から見失われそうになっていることが分かるでしょう。

教会の責任を受けることは、ヤングアダルトの時期に経験できる最高の祝福の一つです。皆さんは地元のワードや支部に多くの貢献ができます。発展を続けるこの教会には、皆さんの才能や能力が必要です。帰還宣教師の皆さんは、熱意や証あかしを通してほかの会員に影響を及ぼすことができます。まだ伝道に出て奉仕したことがない場合も召しは重要です。

一つのワードや支部に落ち着いていないために、ビショップや支部会長に自分の存在を認識してもらっていないのなら、すぐにその状況を改めるようにという、わたしからの個人的な勧めに従ってくださいませか。神権指導者へ報告する義務を引き受けましょう。姉妹の皆さんは、地域の扶助協会の姉妹たちと知り合いになりましょう。扶助協会に積極的に参加しましょう。若い兄弟の皆さん、アロン神権からメルキゼデク神権に昇進するときに授かるさらなる責任と、新たに交わす聖なる聖約にふさわしくなりましょう。地元の長老定員会に腰を据えて、活発に参加しましょう。

一つのワードまたは支部に落ち着いている皆さんには、指導者の目から失われてしまった会員や仲間について考えるようチャレンジします。再び福音のうえに土台を築き、教会に活発に集うように彼らを励ましましょう。



す べての教会員は、ビショップや支部会長に自分のことを知ってもらうべきであり、ビショップや支部会長に自分の状況を報告する義務があります。このような関係を築くことにより、住んでいる地域のワードまたは支部に貢献する機会が与えられるでしょう。

良い教育を受けて、良い仕事に就き、家族を養い、社会に貢献するために必要な技能を修得しましょう。

将来のために今備える

お伝えしたい二つ目のことは、将来に備えて賢明な選択をするということです。

大学に行く年齢の何千人もの若者と交流してきたわたしは、正直にこう言うことができます。教育、就職、結婚への備え、教会に活発であるかどうかに関して、ヤングアダルトの時期の決断が、将来の生活のパターンを決めます。

もし神に関する事柄を第一にするなら、良い決断をすることができるでしょう。総合的に判断すれば自らを神の王国から遠ざけるような決断であっても、その場で魅力的だと感じてしまうと人間はそちらを選択しがちです。天の御父と御子イエス・キリストのみもとに帰り、ともに住むふさわしさを身に付けていなければ、永遠の観点においてすべては無意味です。

聖文の中には、皆さんに役立つ言葉があります。イエス・キリストはこう言われました。「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。」(マタイ6:33)

救い主はこのようにも言われました。「自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。」(マタイ10:39) 人に奉仕するために自分の「命」を失うときに、神の子供としての自分を見いだせるということを、皆さんは理解していますか。これとは反対の生き方、つまり、自己中心的で、神や人に仕えようとしないうる生き方をしていると、永遠の意味で命を失うことになるのです。

将来に備える際に、教会の中での奉仕や交流が最も重要になります。

十分な教育を受ける

良い教育を受けて、良い仕事に就き、家族を養い、社会に貢献するために必要な技能を修得しましょう。

教育や職業訓練を受けるには、高額な費用がかかることがあります。貯金する習慣を身に付け、使用できる資金を賢明に活用してください。そうしておけば、教育を終えたときに返済する額が少なくて済むでしょう。

結婚した後も教育を受けようとしている場合は、家族を養うために犠牲を払いながら、伴侶とともに最善の決断を下す必要があります。家族の必要、仕事、教育のどれも危機に陥らせることのないように注意しましょう。

結婚している、していないにかかわらず、仕事に就いている場合は、適切な職業倫理を身に付けましょう。有能な働き手となり、仕事に関する技術を伸ばしましょう。また、雇用主に忠実でありましょう。昇進やより多くの仕事を任される機会を求めましょう。什分の一と献金を納めましょう。収入の一部を貯金し、儉約と自立の習慣を身に付けましょう。

金銭の真の価値を知る

皆さんがヤングアダルトの時期に経験する最大のチャレンジの一つは、お金の使い方に関する原則を学ぶことです。

ブリガム・ヤング大管長は次のように教えました。「物持ちになりたければ、得たものを蓄えてください。愚かな人でも金を稼ぐことができますが、自分自身の益のためにそれを蓄え、使用できるのは、賢明な人です。」¹

今日の社会は、魅力的でおもしろいものが実にたくさんあります。それらは楽しく、心を和ませてくれます。興味深く、必要に思えます。

しかし、救い主はこのように教えられました。「あなたがたは自分のために、虫が食い、さびが付き、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。

むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。

あなたの宝のある所には、心もあるからである。」(マタイ6:19-21)





人生のこの時期に必要なのない、世俗的な娯楽物に取り囲まれることのないよう気をつけてください。実家の両親が持っていたような物を、今すぐ手に入れる必要があると錯覚してはなりません。ほとんどの場合、皆さんの両親も、何十年という歳月をかけて、現代的で快適な住まいを手に入れたのです。新しく家族を築き始めたばかりの皆さんが、今それらを手に入れようとするのは現実的ではありません。

わたしは自らの経験を通して証します。妻とわたしの最も楽しい思い出の一つは、わたしがまだ法科大学院の学生で、小さな子供たちと、狭いアパートで暮らしていたころのことです。ぜいたくはできませんでした。でも、お互いがいて、福音の祝福があったので、貧しいと感じたことはありませんでした。祝福が大きかったため、この世的な物が不足していることなど気にも留めなかったのです。

結婚の責任を進んで受け入れる

皆さんにお伝えしたい3つ目のメッセージは、一つ目と二つ目のメッセージに関連しています。それは、結婚の責任を進んで受け入れるということです。

中央幹部の兄弟たちは、独身のヤングアダルトが結婚に関する教義を理解することについていつも気にかけています。永遠の家族に関する教会の教義は非常に明確です。教義と聖約から引用します。



「それゆえ、もしある男がこの世において妻をめとるのに、彼がわたしによらずに、あるいはわたしの言葉によらずにめとるならば、彼がこの世にいるかぎり彼女と誓い、彼女も彼と誓うとしても、彼らの誓いと結婚は、彼らが死ぬと、そしてこの世の外に去ると、効力がない。それゆえ、彼らはこの世の外では、いかなる律法によっても結ばれないのである。

それゆえ、彼らはこの世の外に去ると、めとることも、嫁ぐこともなく、天において天使に任じられる。その天使たちは、はるかに優れた、並外れた、永遠の重みのある栄光にふさわしい者たちに仕える奉仕しもべの僕である。」(教義と聖約 132：15 - 16)

簡単に言えば、永遠の結婚は昇栄に欠かせないということです。



結婚を遅らせる要因

先ほどの聖句を心に留めながら、結婚を遅らせる要因を幾つか分析してみたいと思います。

1. 帰還宣教師に対して、結婚することへの勧告が以前よりも弱くなったと思う人がいるかもしれません。もしそう感じるのなら、その印象は間違っています。すべての帰還宣教師は、伝道後も教会に活発に集い、教育を受け、就職に必要な技術を修得し、そして永遠の伴侶を見いだす努力をするように勧められています。

2. 一部の若い兄弟は、ある若い姉妹たちの期待にこたえられないと感じているかもしれません。自分にはとうていこの人の要求を満たしてあげることができない、と相手に感じさせてしまう人を「ハイメンテナンスな人」と呼ぶことがあります。そのような不安は、適切なコミュニケーションを通して解消されるでしょう。

3. 教育やキャリアを重視することは、結婚の優先順位を低めることがあります。結婚、教育、キャリアは同時に取り組めることです。家族を持つことができるのに、家族を持つことなくキャリアだけを追求するのは悲劇です。

4. 自分の人生を単に楽しいだけの、自己本位なものにしてはいけません。人生は楽しむためだけのものではないの

です。所有物を得ることに執着しないようにしましょう。責任を受け入れましょう。

5. 結婚に関するメディアからの否定的な情報や、家族や友達の失敗例を見て、結婚に躊躇することがあるかもしれません。「離婚する人が多いのに、なぜ結婚する必要があるのですか」と言う人もいます。ほかの人が離婚したからといって、あなたが幸せな結婚ができないということはありません。人に左右されないでください。自分は決して失敗しないと決意してください。

6. 経済的な理由から結婚を引き延ばす人もいます。おしゃれな暮らしができるほどの資金がたまるまで結婚を引き延ばすのは、賢明ではありません。そのような選択をすれば、夫婦で苦労を分かち合い、調整し、生活の問題に立ち向かうという、人生の醍醐味を逃してしまいます。

以上やその他の理由によって、結婚が先延ばしにされることがあります。これらの障害一つ一つについて、皆さん全員が納得のいく答えを述べるつもりはありません。わたしは、結婚に関する教会の教義を明確に述べました。わたしは、結婚という人生で最も重要な決断について、十分な信仰をもって前進するようにと、皆さんにお勧めします。

恐れ

結婚を遅らせているほとんどの理由を最もよく表す言葉を選ぶとすれば、それは「恐れ」です。それには、将来への恐れや、失敗への恐れなどが含まれます。恐れを抱くのは珍しいことではありません。しかし、それは信仰と備えによって克服できます。

昔、使徒たちは嵐に遭い、舟が沈むのを恐れました。そのときキリストが「起きあがって風をしかり、海にむかって、『静まれ、黙れ』と言われると、風はやんで、大なぎになった。

イエスは彼らに言われた、『なぜ、そんなにこわがるのか。どうして信仰がないのか。』(マルコ4:39-40)

使徒パウロはこう教えています。「というのは、神がわたしたちに下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛と慎みとの霊なのである。」(2テモテ1:7)

わたしが若かったころは、ふさわしい相手と結婚する機会に恵まれれば、教育を続けることは二の次にして、ふさわしい相手と結婚するという何よりも大切な決断の方が重視されました。ヤングアダルトの皆さんの多くは、すでにそのような決意をして前進しています。そのような皆さんは、快適な生活を幾

分犠牲にする必要があったとしてもそうしたのです。しかし皆さんは、永遠の計画に従い、教会がその会員に示している神のパターンに従って前進しています。

家族

4人の子供と21人の孫がいるティンギー姉妹とわたしは、すこし前に孫娘たちを呼んでお泊まり会をしました。5人の孫娘たち(下は6歳から上は14歳まで)が来ました。孫娘たちはもちろんいとこ同士ですが、それだけでなく、親友同士でもあります。

わたしたちはまず、ティンギー姉妹が作ったおいしい食事を食べました。それから孫娘たちは姉妹が用意しておいた材料で、クラフト作りを始めました。それからわたしたちは、孫娘たちの好きなゲームをしました。そして孫娘たちは、おばあちゃんとおじいちゃんのために、ちょっとしたタレントショーを開いてくれました。タレントショーでは、初等協会の歌から何曲かを祖父母向けに変えて歌ってくれました。例えば、こんな替え歌もありました。

[おじいちゃん]のお帰りは うれしいな
喜び、声あげ 飛びついて
[おじいちゃん]をしっかり 抱きしめて
大きなキスを してあげよう²

5人の孫娘たちは歌いながらわたしのひざに乗ったり、首に手を回したり、頬ほおを触ったり、大きなキスをしてくれたりしました。

これがすべてです。これが家族です。これが福音です。物質的なものやお金で買えるものなど、比較になりません。

将来このような家族を持つ機会があるということを理解しないかぎり、自分の将来に大きな影響を及ぼす決断を賢明に下すのは難しいことでしょう。家族がすべてです。家族に比べたら、ほかのどのような人間関係も、決断も、影を潜めてしまいます。

すべての人が結婚するわけではない

さてわたしは、結婚したいと望んでいるすべての人が現世で結婚するわけではないことを知っています。主の計画ではその点も配慮されています。

旧約聖書のルツは、夫を亡くしてから、自分のためだけでなく、人のためにも生きようと決意したすばらしい女性です。ルツは独り身になっても、家族と神に尽くし続けました。

ルツは、姑しゅうとめのナオミから、自分の人生を生きると言われますが、そのときルツは、大いなる信仰を呼び起こす言葉を口にしました。「あなたを捨て、あなたを離れて帰ることをわたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。」(ルツ1:16)

御存じのように、ルツは後にボアズと出会い、結婚しました。そしてイエス・キリストの先祖の一人になりました。主に忠実に従う人々に約束されている祝福はすべて彼女に与えられました。

家族は福音の中心に位置するものです。人は家族を通して永遠に向かって進歩するので、永遠の結婚と家族は、どのような試練にも耐え抜くほどの価値があります。

わたしが話したこれらのことについてよく考えてください。祈ってください。もし天の御父に願ひ求めれば、御父は皆さんを祝福してください、恐れを信仰に変えてくださることを覚えておいてください。

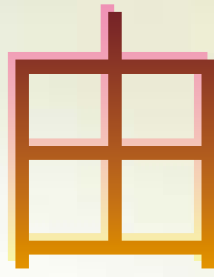
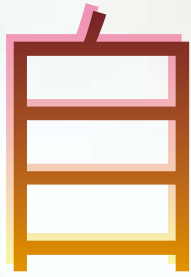
教会に活発であり、将来によく備え、伴侶とこの世から永遠にわたって結び固められるなら、イエス・キリストの福音の約束である喜びを見いだすことができると、へりくだり皆さんに証します。■

2004年5月2日にユタ州オグデンのインスティテュートで行われた教会教育システムファイヤサイドにおける説教から。

注

1. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』252参照
2. 「パパのお帰り」『子供の歌集』110

家族に比べたら、ほかのどのような人間関係も、決断も、影を潜めてしまいます。将来このような家族を持つ機会があるということを理解しないかぎり、自分の将来に大きな影響を及ぼす決断を賢明に下すのは難しいことでしょう。永遠の結婚と家族は、どのような試練にも耐え抜くほどの価値があります。



アダム・C・オルソン

教会機関誌

バレリーナが舞台の上を舞います。——螺旋を描き、回転し、まるで重力がないかのように軽やかに跳ねます。その一つ一つの動きは、自由を雄弁に物語っています。

チリに住むマリア・ビクトリア・ロハス・リベラ（友人からはマビという愛称で親しまれている）は、幼い少女にはよくある話ですが、4歳のときにバレリーナになることを夢見ました。そしてこれもよくある話なのですが、その夢を抱いた後すぐに、舞台の上で優雅に、自由に踊るには、とてつもなく大きな代価が求められることを知らされます。プロのバレリーナになるための努力と節制は、夢見る多くの子供たちにとって、あまりにも高いハードルなのです。

夢の代価

マビはこう語ります。「小さいころは、どれだけ犠牲が要求されるか分かりせん。10歳で習い始めたとき、先生から、人生の半分は踊って過ごすことになるし、いろんなことをあきら

規則があると
だれかから
制限されているように
思えることもあります、
従順であることによって
マビは高く跳べるのです。

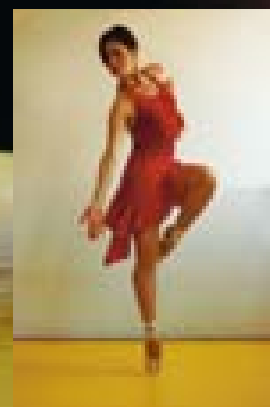
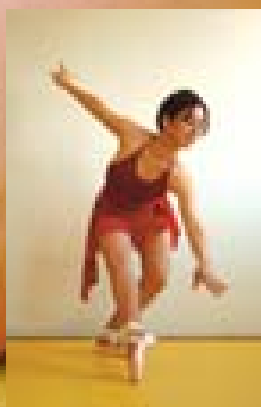
めなければならぬのよ、と言われました。」

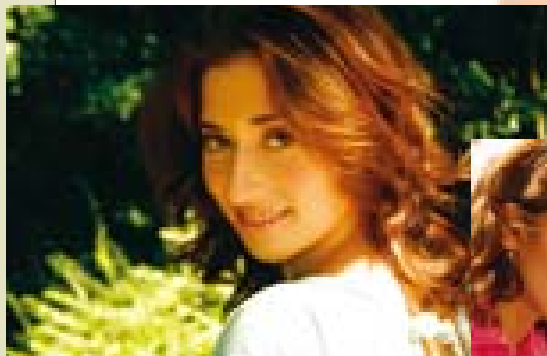
例えば、自由時間や食べ物の制限です。マビは練習に多くの時間と労力をかけます。食べ物にも気をつけます。おまけに、学校とダンスのときを除けば友達と過ごす時間はほとんどありません。

マビはそれでも、その夢を追い続ける価値があると思ったのです。

「10代は難しい時期です。食べ物の制限や、夜遅くまで一緒に遊べない理由を、みんなが理解してくれるわけではありません。」

踊る





自由の代価

マビは若いときに、人からは不自由に見える生活が、目標達成の障害を遠ざける唯一の方法であることを知りました。

「夜遅くまで出かけることを選びました。友達とショッピングセンターに行くよりも練習することを選びました。夜遅くまで出かけて疲れていたり、練習不足でステップを覚えられなかったりしたら、踊れないのです。」

そのように節制するのは簡単ではありませんが、その価値はあるとマビは言います。

「だれでも自分に負けそうになるときはあります。でも、選択する力はほかでもない自分にあるのです。節制して生活していると、だれかから規制されているかのように見えますが、実は自分でそうすることを選んでいっているのです。わたしは踊るためにこの生き方を選んだのです。」

さらに長期的な目標

バレリーナになる努力をしているうちに、ダンスだけが自分の唯一の目標ではないことにマビは気づきました。ダンスだけが犠牲を払う価値のあるものではないのです。

バレリーナになる道の途中で、マビはイエス・キリストに従いたいという望みを持つようになりました。そして、バレエ

を通して学んだ節制が福音における弟子としての生き方にも通じるものがあることに気づきました。バレリーナとしての生活について友達からあれこれ聞かれたのと同じように、福音の原則に従った生活にはなぜこんなに制限があるのかとよく尋ねられました。

マビは言います。「人には選択する自由があることを説明しました。それから、わたしがこの生き方を選択した理由は、罪から自由になることと、聖霊を感じるからだと説明しました。」

救い主が語られたように、弟子になる人は「自分の十字架を負」わなければなりません。すべての不信心や世のあらゆる欲を捨てて、神の戒めを守るのです(ジョセフ・スミス訳、マタイ16:26参照)。そのような節制によって「偉大な仲保者を通じて自由と永遠の命」に導かれます。反対に、戒めを無視して生活するなら「悪魔の束縛と力に応じて束縛と死」に至ります(2ニーファイ2:27)。

マビは語ります。「従順ほど大きな自由と平安をもたらすものはありません。わたしの目標はこの世だけではなく、永遠に及んでいるのです。」

犠牲を払う価値がある

マビは風に舞う木の葉のように、デブロッペとピルエット、

グリサードとグランジュテ、という具合に、体の動きを一つ一つつなげて、なめらかに舞台を舞います。

バレリーナは、普通の人々が体を痛めるような方法で体を動かします。この自由な動きは、観客に様々な感情を伝えるために欠かせません。優れたバレリーナは舞台の上でいつも簡単そうにあらゆる動きをしています、舞台以外のところで多大な努力を払っています。

マビは8年間犠牲を払い、ほとんど毎日訓練してきた結果、舞台の上で、そして福音を基とした生活の中で夢を実現しています。

マビは言います。「人はバレエを見て、美しく優雅だと感じます。でも、それぞれの動きは非常によくコントロールされています。あんなふうに関自分をコントロールするには大きな力が必要です。」

福音についても同じです。キリストに従うには力が必要です。そして、その報いは心地よいものです。

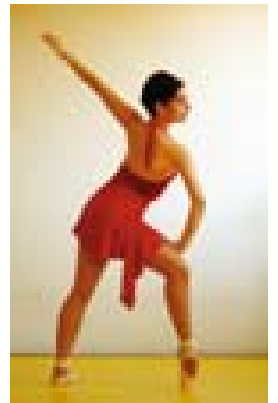
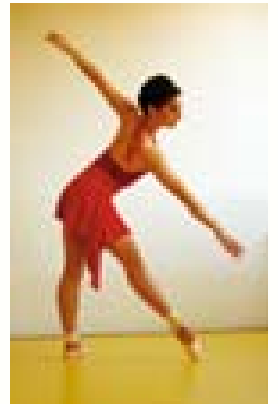
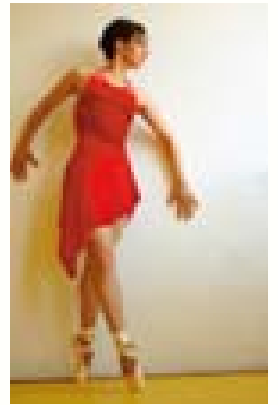
マビは言います。「たくさんの犠牲によって得た報いは、踊れることです。自分が強くなったことが実感できるし、一步一步に聖霊の導きがあるのを感じます。舞台の上でも、それ以外の所でも。」

まだ踊り尽くしていない

ニーファイによれば、ひとたびキリストに従う望みを抱いて、バプテスマと確認の儀式を受けたら、終わりまで堪え忍ばなければなりません(2ニーファイ31:19-20参照)。マビにとって、バレエも同じように固い決意が必要です。

マビはパラグアイで踊った後、チリのビニャ・デル・マルで数年間講師をしました。今、マビは次の段階に進みたいと望んでいます。新しい目標を立て、それを実現するためにアルゼンチン、ドイツ、アイルランド、スペインへ行って様々なバレエ団で研究を続けたり、オーディションを受けたりしています。

マビは、舞台でも福音においても、努力を続けなければならないことを知っています。自由に踊るためには、節制し続けなければならないことも知っています。そして、弟子であることからもたらされる自由を得なければ、信仰によって歩み続けなければならないのです。主はこのように教えられました。「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう。」(ヨハネ8:31-32)。■



知恵をもって踊る

マビは舞台以外のところで健康と体調を維持するために多大な努力を払ってきました。食べ物に気をつけたり、十分な休息を取ったりする以外にも、マビはよく運動して、毎日少なくとも5時間以上は踊ります。でも、自分を大切にするのはバレリーナだからという理由だけではありません。

「教会員として、自分の体が霊の宮であることを理解しています。芸術家として、体のすべての部位に正しく動いてもらう必

要があるので、最善を尽くして体を守っています。しかし、そうすべきであることは教会員としてすでに知っていました。」

バレエの経験を通じて、知恵の言葉は靈感によって与えられているという証がさらに強められたとマビは言います。「体を正

しく扱うと、その影響がはっきりと分かります。」

バレリーナになるためには体を大切にしなければなりません。マビはこう語ります。「けれども、バレリーナでなくても、わたしたちは皆、体を大切にすべきです。自分の体を選ぶことはできませんが、自分に与えられた体^{たまたもの}に感謝し、大切にすべきです。体は神の賜物で、目的があって一人一人に与えられているのです。」



人 が示す模範



七十人
ブルース・C・ヘーフェン長老

ある女性が
妻として、母親として、
そして人間として
示した模範は、
福音のメッセージを
実証するものでした。

つい最近受け取った電子メールの件名欄には、このような悲しい知らせが載っていました。「ウェンディー・ノーブ姉妹の葬儀」涙をぬぐいながら思い出したのは、40年以上前のあの日、宣教師であった同僚とわたしがフランクフルト駅構内の花屋のそばでウェンディーとポール・ノーブに出会ったときのことでした。彼らは、軍務でドイツに来た若いアメリカ人夫婦で、家から遠く離れ、第一子の誕生を迎えようとしていました。伝道部長から「どの瞬間も宣教師」であるようにと激励されたばかりだったわたしたちは、さっそく二人に話しかけました。

福音を教えながら、わたしはウェンディーの魂の内にある光に感銘を受けました。ウェンディーは朗らかで、明るく、霊的にとてもいきいきとしていました。回復の意味を直感によりはっきりと感じ取っていました。彼女の証が培われ、顔に光が増すのをそばにいて見守ることができたのはすばらしい特権でした。

30年以上たってから、ウェンディーは最初にわたしたちと話したときのことをこう回想しました。「初めてジョセフ・スミスのお話を聞いたときに感じた気持ちは決して忘れません。ドイツで住んでいた小さなアパートの2階の部屋

は、恐らく今の寝室くらいの大きさで、わたしたちはベッドを兼ねたソファの端に「あなたたち宣教師と向かい合って」座っていましたね。わたしは驚いたと同時に、安堵したことを覚えています。どこかにそのようなことがあるに違いないと、以前からずっと感じていたのです。わたしたちが明らかにそうであったように、人が霊的に手探りの状態にとどまるのを、神がそのままにしておかれるというのは道理に合いませんでした。……その話は絶対に真実であると思い、信じたのです。」

しかし、ウェンディーとポールはバプテスマを受けることを決意してから間もなく、親族の一人から、神権を受ける条件についての教会の方針を批判されました。二人は混乱し、意気消沈しました。そして、「転任のときにお別れのあいさつに立ち寄るときを除いて、もう来ないでください」と言いました。わたしたちは二人の疑問に答えるすべを知りませんでした。最後にもう一度だけチャンスがあることは分かりました。その時が来て、彼らと話していると、わたしは少し前に個人学習で気づいたある聖句を一緒に読むようにという促しを受けました。使徒行伝の第10章から第11章にあるペテロとコルネリオの話です。その晩、わたしは宣教師にあてた主の約束が成就したことに気づきました。「あなたがたの言うべきことは、まさにそのときに、まことにその瞬間にあなたが



教会について リビーがまず 感銘を

受けたのは、
母として、妻として、
そして人間として、
ウェンディーの示した
個人的な
模範の力でした。
リビーにとって、
少なくとも最初は、
ウェンディー自身が
回復のメッセージ
だったのです。

たに授けられる……〔そして〕聖霊が……あなたがたの述べるすべてのことを証するであらう。』（教義と聖約100：6,8）ともに祈りながら、全員が平安をもたらす御霊を感じました。

何年も後に、ウェンディーはこの経験についてこう言いました。「何を言われたか、何を話したかは覚えていませんが、あの光、……つまり御霊が……戻ってきて、わたしは福音が真実であること、そしてたとえすべてを完全に理解できなくても、そのメッセージは真実で、それを受け入れる必要があり、いつかは理解できるようになる、ということを知りました。」

こうして、ポールとウェンディーはバプテスマを受けました。二人はすぐに神殿で結び固め

られました。だれもが味わう家族生活に伴う試練を受けながら、5人の子供を育て、最終的には全員教会に活発になりました。何人かは伝道に出ました。ポールは学校の教師でした。ポールとウェンディーは教会で美しい二重唱を披露しました。ウェンディーはワードの聖歌隊を何年も指導しました。二人は神殿を愛し、「聖徒たちの喜び」を自分自身で知ようになりました（エノス1：3）。

あるときロンドンの教会に出席していた妻のマリーとわたしは、合衆国のメイン州出身のリビー・カサスという名の女性に出会いました。当時メイン州出身の人はノーブ家族しか知らなかったため、リビーにノーブ家族を知ってい

伝道活動
について、
ゴードン・B・
ヒンクレイ大管長は
こう述べています。
「皆さんの努力で
教会に来るようになる
人はすべて、
皆さんの人生に
幸福をもたらして
くれます。」

るか尋ねてみました。リビーは顔を輝かせて言いました、「知っているかですって？ ウェンディーはわたしの親友ですよ。彼女が福音を紹介してくれたのです。」ウェンディーがリビーに出会ったのはコインランドリーの前でした。母親である二人は家族の洗濯をしに来ていたのです。そしてウェンディーは、わたしたちが駅でしたのと同じように、リビーに福音を分かち合いました。教会についてリビーがまず感銘を受けたのは、母として、妻として、そして人間として、ウェンディーの示した個人的な模範の力でした。リビーにとって、少なくとも最初は、ウェンディー自身が回復のメッセージだったのです。

ノーブ家族は後にオレゴン州へ移住しました。そして去年、ウェンディーが癌にかかったことを聞かされた後、祝福されたことに、ノーブ家族が総大会の間ユタに来ていることが分かりました。ウェンディーの夫と、帰還宣教師であるその息子、それにわたしは、彼女に祝福を施しました。そして、皆で過ぎ去った40年の経験を分かち合いました。福音がまさしく彼らのすべてであったことは明らかでした。それは彼らの、そして彼らの子供たちの人生の中心であり、目的でした。ポールとウェンディーは夫婦で伝道するという夢を実現するため、健康になることを熱望していました。

亡くなる少し前に、ウェンディーはわたしへの手紙にこう書いてくれました、「わたしが心から感じるのは、主の腕に抱かれているということです。主は御自分の望まれるままに何事でもおできになります。そしてわたしは主の御手の中にあるのです。」ウェンディーは

福音と家族への感謝を表してから、こう記しています。「主は何とすばらしい御方でしょうか。」

今やウェンディーは亡くなり、家族はとても寂しい思いをしています。彼女の息子はその死について書き送ってくれたとき、このように言っています。「母を福音の光の中に導いてくださり、ありがとうございました。母は生涯戒めに従順でした。」彼があるとき母親からもらった手紙にはこう記してあったそうです。「お母さんは主を愛していて、計り知れない価値のある福音を人生にもたらしてくださったことを〔主に〕感謝しているの。ほかのどんなことより、主に忠実であることを証明したいと思っているし、実際そうするように努めているわ。」

ウェンディーとその家族にとって福音こそがすべてであったので、彼女の宣教師であった者として、御父の王国で彼女とともに受ける「〔わたしたち〕の喜びはいかに大きいことか」理解することができます(教義と聖約18:15)。彼女にとって福音がすべてであったので、彼女に伝道した経験はわたしにとってすべてなのです。伝道をすることが「あなたにとって最も価値のあること」と、主が言われたのも不思議ではありません(教義と聖約15:6, 強調付加)。

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長はこう言いました。「聖徒の皆さんにお願いしたいと思います。知人の中で〔宣教師が〕教えられるかもしれない〔人〕を宣教師に紹介するために、できることをすべて行ってください。……皆さんの努力で教会に来るようになる人はすべて、皆さんの人生に幸福をもたらしてくれます。わたしはこのことを皆さん一人一人に約束します」(「靈感を伝える言葉」『リアホナ』2003年10月号, 3参照)

わたしは自分でその約束の意味を味わいました。わたしも同じようにお願いします。どうか今年、一人の人にでもけっこうですので、教会のことを紹介してください。少くく断られてもあきらめないでください。好機を決して逃さないようにすれば、皆さんもウェンディー・ノーブとともにこう言うようになるでしょう。「主は何とすばらしい御方でしょうか。」■



じゅうぶん 什分の一とその他のささげ物

世界を変えたい、でも方法が分からないと思いませんか。答えは皆さんのすぐそばの『什分の一・献金票』にあります。あなたがあの小さな献金票でする献金がどのように世界中で、そして、あなた自身のワードや支部で主の王国を打ち立てる力となるかを見てみましょう。

什分の一

あなたの収入の10パーセントはユタ州ソルトレーク・シティーにある教会本部に送られます。そこで教会の指導者たちは、そのお金を最も必要としている場所がどこであるかを注意深く決定します。あなたの什分の一は、世界のどこかで新しい集会所を建てるために役立てられるかもしれません。

だんじき 断食献金

断食日曜日ごとに、末日聖徒には断食献金基金に献金する機会があります。ビショップや支部会長はそのお金をまず最初に、食料や住居にかかるお金を必要としている自分のワードや支部の会員を助けるために使います。そのうえで余った献金があれば、ほかの地域に住む、助けを必要としている人々に回されます。

氏名

当然のことと思うかもしれませんが、この欄には毎回必ず同じ書き方で記入してください。そうすれば、ワードや支部の書記は齊藤太郎と 齋藤太郎が同じ人であるかどうかを確認しなくて済みます。(訳注——日本では、献金者登録番号によって本人であるかどうか確認します。)

ワード宣教師基金

あなたのワードや支部から出ている宣教師を支援するための献金です。

中央宣教師基金

世界中の教会で働く宣教師や伝道活動を支援するための献金です。

モルモン書基金

モルモン書を購入するための献金です。世界中で人々の改宗を助けることができます。



「ある日、男性たちが集まって預言者ジョセフ・スミスと話していました。……ある貧しい男性の家が焼き払われたとの知らせが入ったのです。この出来事に、だれもが深い悲しみを表していました。預言者はしばらく耳を傾けてから、『ポケットからお金を出して言いました。『わたしがこの兄弟を気の毒に思う気持ちを、5ドルのお金で表そうと思います。皆さんはどのくらい彼のことを気の毒に思っていますか?』……昨年、何百万人もの皆さんが、金銭や思いやり、そして助けの手をささげて人々の悲しみを和らげようしました。皆さんの惜しみなくささげる精神に感謝します。」

管理ビショップ

H・デビッド・バートンビショップ
「思いやりの心と助けの手」
「リアホナ」2006年5月号、8

人道的援助基金

世界のどこかで大規模な自然災害が発生したときはいつでも、教会は緊急物資を提供する活動に協力しています。人道的援助基金は栄養失調や飢餓に苦しむ人々に食料を、また、助けの必要な子供たちには文房具セットを送っています。最近の例として、何百万人ものアフリカの子供たちへのはしかワクチンの予防接種を援助しました。

神殿建設資金

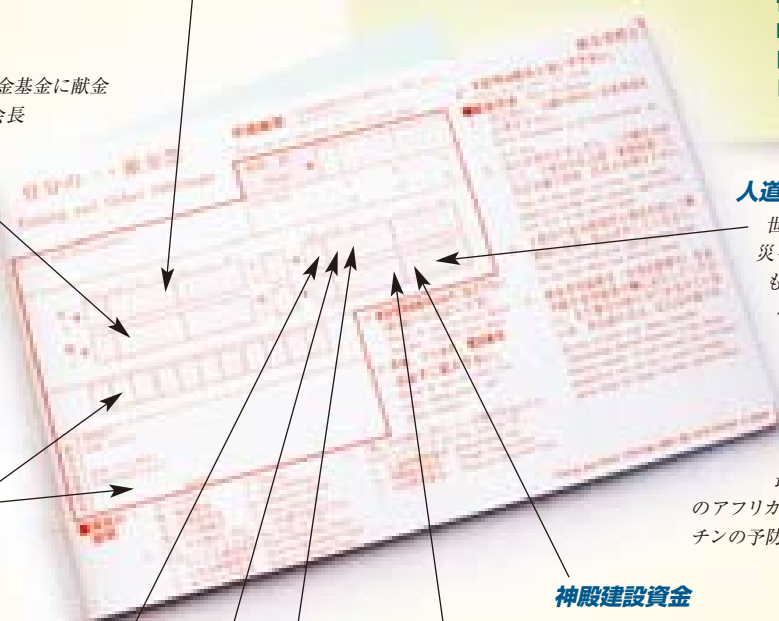
世界に神殿を建てる費用を援助したいなら、ここに献金してください。

永代教育基金

高校以上の教育を受けることができない末日聖徒のヤングアダルトが世界の各地には大勢います。永代教育基金は、多くの国の学生が明るい未来を迎えるために教育ローンを貸し付けています。

その他

スカウト・キャンプや若い女性のキャンプをはじめ、教会主催の活動の参加費用を支払うことはありませんか。そのようなときは、「その他」の欄にその金額を書いてください。実際にはこのお金は献金ではありませんが、この欄を見てワードや支部の指導者は金額を記録し、あなたに領収書を発行します。(訳注——日本では、『什分の一・献金票』を用いず、ステークの銀行口座に直接振り込むことになっています。)





天の窓

H・ブライアン・リチャーズ長老

1998年から2006年まで
七十人定員会の会員として奉仕

わたしが初めて家の手伝いではなく、ほんとうの仕事を持ったのは13歳くらいのときでした。新聞配達をしたのです。毎日夕方になると、ソルトレーク・シティーの自宅の近所を自転車で回り、家々の玄関前に新聞を投げ込んでいたときのことを今も覚えています。たいした収入ではありませんでしたが、毎月給料を受け取れば什分の一じゅうぶんを納めるのは当たり前のことでした。両親が什分の一を納めて模範を示してくれていたのです。それが主からの戒めであることを知っていました(教義と聖約119:3-4参照)。

子供時代、父や母と一緒に什分の一の面接を受けたことを思い出します。ビショップの面接を受け、什分の一を完全に納めているとはっきり伝えることは、ごく自然なことでした。成長してより多くの収入を得るようになってからも、わたしはいつも最初に什分の一を納めていました。

親になってからは、子供たち一人一人が個別にビショップから什分の一の面接を受けることがわたしたちにとって大切なことでした。妻とわたしは、子供たちが幼いうちから、小遣いの什分の一を納めることを教えるよう努めました。子供たちが大人になるまでに、什分の一の祝福を何度も経験し、什分の一は納めるべきものであると理解してほしかったからです。

祝福はやって来る

リチャーズ姉妹とわたしが結婚したばかりのころ、わたしたちはまだ学生で、収入はほとんどなく、使えるお金はわずかでした。什分の一を納めることは大きな犠牲でした。しかしリチャーズ姉妹は、食べ物や家賃などといったどうしても必要なことのために什分の一のお金を使おうなどとは一度として考えたことはありませんでした。彼女は、最初に什分の一を納めることの大切さを強調し、わたしたちはいつもそのようにしていました。時には請求書の支払いを済ませると1セントしか残らないこともありましたが、それでもいつも何とか支払うだけのお金はあったようです。それは、什分の一を納めるといふわたしたちの信仰を实践したことによる祝福でした。

什分の一から来たわたしに信じている一つの祝福は、仕事を始めてから今まで、長期の失業が一度もなかったことです。働き始めて間もないあるとき、雇用先の資金繰りが苦しくなり、解雇されたことがありました。しかし、2週間もたたないうちに、それまでより収入の多い仕事に就くことができました。ある一つの会社で勤務していた25年の間、周りにいた従業員たちが解雇される時期を何度も経験しましたが、わたしは解雇されませんでした。什分の一を納めていたことで主が祝福してくださったのだと信じています。

若い兄弟姉妹の皆さん、皆さんが必要な信仰を働かせて什分の一を納めるなら、祝福を



皆さんが
必要な信仰を働かせて
什分の一じゅうぶんを納めるなら、
祝福を受けることを
約束します。

左一頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 中一頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 右一頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下一頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下二頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下三頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下四頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下五頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下六頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下七頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下八頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下九頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES. 下十頁: 聖書研究部 © CORBIS IMAGES.



**インドの
ラジャムンドリー
における
教会の^{くわ}鍬入れ式で、
忠実な末日聖徒たちに
会いました。
什分の一は
金銭にかかわる戒め
ではなく、
信仰の原則であること
を再認識しました。**

受けることを約束します。ささげる額がどんなに少ないと思えても、ためらわずに納めてください。お金を得たらまず最初に納めてください。そうすればあなたの信仰は強くなり、什分の一を納めていなければとても自分には達成する能力がないと思うようなことを成し遂げることができます。お金の管理に関する知恵が増し、自分は主が言われていることを実行

しているのだと思うと自信が生まれ、幸せな気持ちになるでしょう。さらに、そのことが力の源となって、将来、その力に頼ることができるようになります。

リチャーズ姉妹とわたしは、什分の一を納めた結果としてたくさんの祝福を得ました。わたしはそう確信しています。また、遠くの地に住む世界中の忠実な末日聖徒が什分の一を喜んで納め、それによってあふれる祝福が与えられるのも見てきました。

インドにおける教会

わたしが特に深い感銘を受けた出来事があります。2000年に、インドで最初の末日聖徒の集会所建設の^{くわ}鍬入れ式に出席する機会がありました。礼拝堂の用地はラジャムンドリーという、東海岸近くの都市にありました。約300万人もの人々が住んでいるにもかかわらず、インドでは比較的小さな都市です。

ラジャムンドリーへの旅に同行してくれたのは妻と伝道部会長のエベニーザ・ソロモン夫妻でした。ラジャムンドリーの混雑した駅に着くと、そこで目にした極度の貧困に生きる多くの人たちに、わたしの心は同情でいっぱいになりました。空いた場所さえあれば、所構わず

固い床の上で寝ている多くの人たちがいました。鍬入れ式の現場に着くと、たった今見た惨めな光景とは全く対照的に、わたしたちに会うために集まった会員たちの喜びの顔がありました。近づくわたしたちに、彼らは笑顔で手を振っていました。とても喜び、興奮していました。ある標準から見れば、彼らも貧しい生活を送っています。しかし、絶望や虚無感をうかがわせる様子はまったくありませんでした。

どうしてここが教会の用地として選ばれたのか、わたしにはすぐに分かり始めました。実はわたしは、なぜ教会がこのような遠隔地に教会の資源を投入しているのか、よく分からなかったのです。しかし、ラジャムンドリーの聖徒たちとの短い交流で、わたしの疑問はすべて答えられました。自分たちの集会場を持ちたいという、強い信仰と熱意をこの末日聖徒たちは持っていたのです。

やもめのレプタ

鍬入れ式の後、ソロモン会長はわたしに、夫を亡くした4人の姉妹を紹介してくれました。4人も数年前にバプテスマを受けた70歳代の姉妹たちでした。ソロモン会長によると、この女性たちは皆バプテスマを受けて以来什分の一を完全に納めているということでした。過酷な困窮状態にあるこの地域にあって、この忠実な姉妹たちは一度も欠かすことなく什分の一を納めてきたのです。きっと、大変な犠牲だったことでしょう。わたしはその事実に感動しました。

わたしはソロモン会長に、この姉妹たちが什分の一として納めるのは毎月幾らくらいですか、と尋ねました。彼はインドの通貨であるルピーで額を教えてくださいましたがわたしには理解できず、アメリカドルで幾らになるかを尋ねました。「1セント半から2セント(約2円)の間くらいですね。」と言う会長の答えを、わたしは決して忘れないでしょう。そこでわたしは改めて、什分の一を納めるのはお金の問題ではなく、信仰が必要であることを思い出しました。これらの姉妹たちに礼拝堂の祝福が実現した



のは、わずか数セントであっても彼女たちが什分の一の犠牲を喜んで納めてきたからだということが分かり、謙遜な気持ちになりました。きっと主は、これらの小額のお金を何百万ドルにも値する祝福に変えてくださることでしょう。

什分の一は金銭にかかわる戒めではなく、信仰の原則です。主は、収入の10パーセントを求め、わたしたちが主への信仰を働かせてその犠牲を払うかどうかを見ておられます。ラジャムンドリーの聖徒たちには、まさにその信仰がありました。

わたしたちが建設現場に着くと、道路から聖徒たちが集まっている大きなテントまで赤いじゅうたんが敷かれていました。それを見て、わたしは感動しました。30メートルほどもありました。テントの下には赤いベルベットのいすも置いてありました。とても大きく、立派ないすでした。じゅうたんもいすも使い古されたものでしたが、ここの聖徒たちが提供

できる最高のものだったのです。最高のもの以外を出すことなど、彼らには考えられないことでした。わたしにとって、謙遜になる経験でした。ラジャムンドリーの聖徒たちは、什分の一を納めることであれ、訪問してくれた教会指導者の便宜を図るために最高のものを提供することであれ、主に忠実にささげ物をするのがどのようなことであるかの模範を示してくれたのでした。

額の多少にかかわらず、自分の収入の10パーセントで大したことはできない、あるいはそれらの金額は大して重要ではないと思うかもしれませんが。わたしはそれが大切であると約束します。あなたが今什分の一の律法に従うことは大切です。なぜなら、什分の一はあなたの信仰を強め、あなたを将来の試練に備えるからです。

主は、わたしたちが戒めに従えば、約束された祝福を与える義務をわたしたちに対して負うと約束してくださいました(教義と聖約82:10; 130:21参照)。わたしは、ラジャムンドリーの聖徒たちの生活にその祝福を見ました。そして、皆さんも忠実に什分の一を納めることで、自分自身の生活にその祝福を見ることができるのです。■

詩

アリス・フォークナー

子 供のとき、ある詩を見つけました。だれかが何かのパンフレットから破って歩道に捨てたページに書かれてあったのです。わたしは低所得者用の公営住宅で育ちました。一人でいるのが好きな子供でしたが、孤独を紛らわしてくれるものが3つありました。本と、エルビス・プレスリーの映画

と、詩です。特に詩が大好きでした。詩は、言葉では説明できませんが、自分も知らない

心のどこかに語りかけてくれました。パンフレットに書かれてあったその詩に興味を引かれたわたしは、拾って家に持ち帰りました。

それから何年も、わたしはその詩を毎日、ときには日に何度も読み返しました。授業中や、授業から授業の移動中、また休み時間に独り腰かけているときも、詩の一部が頭に浮かびました。それまで詩を暗記したことはありませんでしたが、この詩は例外でした。その詩の何かがわたしに語りかけ、心を動かしたのです。

「**汝**れは旅人」と
ささやきありて
さらに高き世に
在りしをさとる

わたしは、ずっと前から自分がほかの子供と違うと感じていました。とき

そ の詩に興味を引かれたわたしは、拾って家に持ち帰りました。その詩の何かがわたしに語りかけ、心を動かしたのです。

の世の中に自分のように感じている人がどれくらいいるだろうか、その人たちに会える時が来るのだろうかと思うことができました。

深き**み**旨にて
われ世に降し
友と生まれとの
思い出留めぬ

それから何年もたって、求道者とし

には、自分のほんとうの家はどこか別の所にあって、頑張れば、少しは思い出せそうな気がしたものです。あの詩がそんな気にさせてくれたのです。時々引き出しから取り出しては読みました。こ

て初めて**聖餐**会に出席したときのことです。指示された賛美歌のページを開いてみて、そこに、昔拾ったあの詩を見つけたときのわたしの驚きを想像してみてください。それは、眠れないときや、夜中に泣きながら目を覚ましたとき、勝手にメロディをつけて歌っていたあの詩でした。アレンジこそ違え、ピアノから流れるそのメロディにも聞き覚えがありました。

高きに**栄**えて
住めるわが父
いつ帰りに
み顔を見るや

わたしは周りの皆が「高きに栄えて」（『賛美歌』180番）を歌っている間、子供だったわたしに神がその歌を授けてくださったことを思い、涙が止まりませんでした。

わが霊かつては
みそばに住みて
幼きそのとき
育てられしか

聖餐会で会衆がわたしの大好きな詩を歌うのを聞きながら、わたしは正しい道を見つけたことを確信していました。宣教師たちに教えられたことが真実だと分かったのです。末日聖徒イエス・キリスト教会が地上で唯一、神の真実の教会だということも知りました。ですから、バプテスマを受けて教会に入り確認の儀式を受けるのが主の前に正しいことなのか、ひざまずいて神に尋ね、そのとおりでであるという答えを受けたとき、驚くことはありませんでした。

ウォーカー長老とホイッティカー長老から3週間にわたってレッスンを受けた後、ウォーカー長老がわたしをバプテスマの水に沈めてくれました。わたしは洗い清められたのです。今まで感じたことも想像したこともないほど、自分が清く感じられました。長老たちと一緒に神権者たちの確認の輪に加わっていたのは、わたしの最初のビショップでした。彼は、わたしが宣教師たちの訪問を依頼したときに、電話に出てくれた人でもありました。

大好きだったあの詩の言葉が聞こえるような気がしました。その言葉は、美しい旋律のように空中を漂い、永遠の御父との再会を切望するわたしの心に触れました。そして、今まで会ったすべての人と出来事の一つ一つないで、わたしを教会に導いてくれたのです。

御父と呼ぶべく
みたまにならう
知の鍵受くまで
理を知らざりし ■

わたしの息子も 生きています

ブレンダ・ハント

わたしは、キリストとその^{あがな}贖い
を信じる確固とした信仰に
よって甘美な平安が得られ
るといっても貴重な教訓を、ある
ワードの姉妹から受けました。

この女性は、祝福師の祝福で
親となる喜びを味わうと
約束されていました。

しかし、子供を授かりたいという彼女と夫の祈りがこたえられないまま、何年も過ぎていきました。しかし、その祈りが聞き届けられる時がようやく訪れました。9か月間、二人は喜々として出産に備えました。部屋のペンキを塗り替え、家具を買い、洋服などのベビー用品をそろえました。その間、多くの祈りをささげました。この子の後に子供を産むのは無理だと医者に宣告されていたので、彼女の夢はこの子一人に託されていたのです。

この姉妹が出産し、赤ん坊の泣き声を聞く日がやって来ました。

「かわいい男の子ですよ」と看護師が告げました。

夫 婦の祈りが
かなう時が
ようやく
訪れました。
二人は家具を買い、
洋服などの
ベビー用品を
そろえました。



母親は目を閉じ、感謝の祈りをささげました。しかし、4分後、赤ん坊は亡くなってしまったのです。

その2週間後、聖餐会で彼女を見かけました。彼女は指揮者だったので、礼拝堂の正面へ歩いて行き、オルガンのそばの席に腰かけました。彼女の指揮の下、わたしたちは「主は生けりと知る」(『賛美歌』75番)を歌いました。まっすぐ背筋を伸ばして立ったその明るい顔には、証が光り輝いていました。時々、歌詞を歌う声を詰まらせていました。彼女は込み上げてくる気持ちを抑えるかのように、唇をしっかりと結びました。それから歌うのをやめましたが、腕だけは動かして、指揮を続けました。

その後、この姉妹は涙をとめどなく流しながら、次のような簡潔な言葉で証を述べました。「わたしは主が生きておられることを知っています。主は義の御方であって、わたしたちを愛しておられます。主が生きておられるからこそ、わたしの息子も天で生きているのです。」

わたしは彼女の信仰に触れて、贖い主が確かに生きておられるという確信を得ることができました。救い主はわたしたちに、不死不滅と永遠の命を得られる道を備えてくださいました。息子が取り去られても、いつの日か回復されて自分のところに帰ってくることを、彼女は知っていたのです。■

御霊はなぜ語りかけていたのでしょうか

ロジャー・B・ワールステンヒュルム

1980年の夏、マサチューセッツ州ボストン伝道部でのわたしの伝道は終わりに近づいていました。ある晩、わたしたちは将来を嘱望された大学生に救いの計画について教えていました。

レッスンの間、わたしたちが教えていた原則が真実であることを御霊が繰り返し証するので、圧倒されるほどでした。まるで声を出して祈るように、次のように願ったことを覚えています。「わたしはこのことをもう

知っています。過去2年間、数え切れないほどこのレッスンを教えてきたのですから。御霊を感じるができるのは感謝しますが、求道者にも証してくださいませんか。」

こんな経験をしてから少しして、わたしは伝道部会長に呼び出され、母が自動車事故で急死したことを告げられました。当然ながら、母の死は家族と町の人々にとって大きなショックでした。しかし、最初のショックが過ぎて考える余裕ができたころには、あの救いの計画のレッスン中に受けた御霊の強い証の意味をはっきりと悟っていました。慈愛に満ちた天の御父が、もうすぐ訪れる母の死にわたしを備えてくださったのです。

母がいないこととその教えが受けられないことを寂しく思わない日は一日としてありません。しかし同時に、恵

レッスンの間
何度も、圧倒
されるほど
強く御霊を
感じました。





宣 教師に
折り返し
電話して、
用件を尋ねました。
彼は驚いて、
「電話していません」
と答えました。

み深い天の御父が、わたしを母の死に備えてくださったことも一日として忘れることはありません。■

不思議な電話

クラウドイオ・ズィビック

2004年2月7日土曜日、わたしと妻が、スペイン北部のヒホン市のホテルに滞在していたときのことでした。当時、わたしはスペイン・ビルバオ伝道部の会長を務めていました。夕食を済ませてすぐに、まだ聞いていない伝言がないか携帯電話を調べました。すると、一人の宣教師からの着信記録が残っていました。わたしはどの宣教師か確認したうえで、折り返し電話しようと番号を押しました。

電話に出たのは本人でした。短いあいさつを交わしてから、わたしは用件を尋ねました。すると彼は驚いて、

「電話していません」と答えました。わたしは確かに彼からの着信記録があったと告げましたが、宣教師は電話していないと繰り返しました。

電話を切って5分たったころ、彼から電話がありました。「会長、実は困った問題があって、とても悩んでいるのです。それで、どうしたらよいか教えてください、と主に祈り求めています。でも、まだ会長に電話する気になれず、さらに主に祈っていたのですが、ちょうどそのときに会長から電話があったのです。自分から電話をしていなかったの、ほんとうに驚きました。すぐに会長に話すように、主が指示しておられるのだと分かりました。」

二人でしばらく話した結果、彼の問題は解決しました。

それから2日後、その長老と話す機会があったときに、ほんとうにわたしに電話しなかったのか、もう一度尋ね

てみました。すると、「していません、会長。それは主がなされたことです」と彼は答えました。通話記録を見てみても、間違っ^てダイヤルした形跡はなかったとのことでした。

主は言われました。「あなたは謙遜^{けんそん}でありなさい。そうすれば、主なるあなたの神は手を引いてあなたを導き、あなたの祈りに答えを与えるであろう。」(教義と聖約112:10) また、アルマは息子ヒラマンに次のように教えています。「あなたのすべての行いについて主と相談しなさい。そうすれば、主はあなたのためになる指示を与えてくださる。」(アルマ37:37) わたしたちが常に必要としている平安を得るには、天の御父が望んでおられることをしなければなりません。あの不思議な電話は、確かに若い宣教師の祈りに対する答えだったと確信しています。■

全員が教会員ではない家族を強める

これまでの人生のほとんどを家族の中でただ一人の教会員として生活してきたわたしは、福音に従って生きようとするときに様々な困難に遭遇してきました。そんなわたしにとって靈感あふれる教会の出版物、特に『リアホナ』は、御霊を身近に感じるうえで大きな助けになっています。

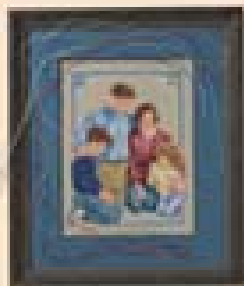
福音に生活を変える力があることを毎月思い起こさせてくれることにとっても感謝しています。

エクアドル、サンドラ・ビノクナ

預言者の声

2005年10月号の『リアホナ』はわたしにとって特に素晴らしいものでした。どの記事も心にしみるものばかりでしたが、ジェームズ・E・ファウスト管長の「無数の愛の糸」という話に特に心を打たれました。だれもが読むべきだと思います。この末日にわたしたちを導くために預言者と与えてくださった天の御父に感謝しています。

ナイジェリア・イバタン伝道部、
エメニケ・ホープ・オンウィチェックワ
長老



PDF版に感謝

『リアホナ』はわたしたち家族に多くの靈感を与えてくれます。そして福音に従って生き、人々にその教えを分かち合おうとするときにとても役立ちます。『リアホナ』に携わる人々のおかげでわたしたちは大きな祝福を受けています。記事を読むことによって霊性が高められ信仰が深められますし、イラストやデザインも美しいと思います。

今ではインターネット上に様々な言語の『リアホナ』がPDFファイルで用意されているので、製本された『リアホナ』を切り抜いてだめにすることも

なく感謝しています。記事の一部や絵などを冷蔵庫にはり付けたり、家庭の夕べや分かち合いの時間のときに使ったりするときは必要な部分を印刷するだけで済むからです。何とすばらしいことでしょう。

アメリカ、クリスチャン・カールソン
注——『リアホナ』は、インターネットで
www.lds.org にアクセスすると幾つかの言語で
読むことができます。英語の場合は“Gospel
Library”をクリックしてください。その他の言語
の場合は世界地図のアイコンをクリックしてくだ
さい。

最も大いなる宝

わたしはすべての『リアホナ』に感謝しています。毎月『リアホナ』を読むことによって、わたしたちは主の御心を知り、証を強めることができます。この末日にあつて『リアホナ』は素晴らしい宝です。

大管長会のメッセージを読むと、救い主のように生きたいという気持ちになりますし、主イエス・キリストの純粋な福音を学ぶことができます。文化は違ってもわたしたちの目指すところは同じです。国境を越え、大海原で隔てられた地にあつても末日聖徒が同じ記事を読んでいると思うと喜びで胸がいっぱいになります。

ベネズエラ、ホセ・ラミレス

母国語で読める喜び

ウクライナ出身のわたしは8か月前に夫とともに(アメリカの)アイダホに移り住んで来ました。わたしはまだ英語が上手ではありませんし、時々日曜日に教会で話されていることが十分に理解できないことがあります。集会の中で聖霊を感じることはできますが、今、指導者たちの言葉を母国語で読む機会があることにとっても感謝しています。

記事をお寄せください

知恵の言葉を守ることによって霊的・物質的な祝福を受けたと感じたことがありますか。運動、適切な食生活、健康管理などを通して祝福を受けた経験談をお寄せください。記事(日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は800語以内)は2007年5月15日必着で、liahona@ldschurch.org または以下の住所にお送りください。

Liahona, Word of Wisdom
50 E. North Temple St. Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-3220,
USA

住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス、ワード/ステーク(支部/地方部)を明記してください。記事が採用された方には、その旨をご連絡します。

わたしにとって『リアホナ』は霊的な話を届けてくれる貴重な書物です。

アメリカ、レナ・カントー

感謝の気持ちでいっぱいです

『リアホナ』はわたしにとってなくてはならないもので、大きな助けになっています。わたしは毎月困難な出来事に遭遇していますが、数か月前のこと、ふと『リアホナ』は様々な問題を抱えたわたしのために書かれているような気がしたのです。従順に生きることによって幸せになるよう神様はわたしたちに望んでおられることを知っています。

フィリピン、ジョージア・アドルフ・バブラヤ



聖書に記された出来事

「ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリの前に現れたバプテスマのヨハネ」デル・パーソン画

1829年5月15日、ペンシルベニア州ハーモニー近くのサスケハナ川の岸辺で、バプテスマのヨハネは次のように述べて、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリをアロン神権に聖任した。
「わたしと同じ僕であるあなたがたに、メシヤの御名によって、わたしはアロンの神権を受ける。
これは天使の働きかぎの鍵と、悔い改めしもべの福音の鍵と、罪の赦しゆるのために水に沈めるバプテスマの鍵を持つ。」(教義と聖約13:1)



^{せいさん}
「聖餐会で行う最も貴重な礼拝は、
聖餐の聖なる儀式です。

なぜなら、その儀式を通して
わたしたちは救い主とその犠牲に
思いと心を向けることが
できるからです。」

デビッド・B・ヘイト

「聖餐——主の犠牲」10ページ参照